

Cisco Unified IP Phone 7970 シリーズ 電話ガイド for Cisco Unified CallManager 5.1 (SCCP/SIP)

(ライセンスおよび保証規定を含む)



電話機の一般的なタスク

電話機でオンラインヘルプを表示する	 を押します。
コールを発信する	番号をダイヤルする前またはダイヤルした後にオフフックにします。
番号をリダイヤルする	[リダイヤル] を押します。あるいは、オンフック中にナビゲーション ボタンを押して、発信履歴ログを参照します。
コール中にハンドセットに切り替える	ハンドセットを取り上げます。
コール中にスピーカまたはヘッドセットに切り替える	 または  を押し、ハンドセットを置きます。
電話機をミュートにする	 を押します。
履歴を使用する	 を押して、履歴を選択します。ダイヤルするには、リストを強調表示し、オフフックにします。
番号を編集する	[編集] <<、または >> を押します。
コールを保留および復帰する	[保留] または [復帰] を押します。
新しい番号へコールを転送する	[転送] を押し、番号を入力してから、 [転送] をもう一度押します。
標準の (アドホック) 会議コールを開催する	[次へ] > [会議] を押し、参加者にダイヤルしてから、もう一度 [会議] を押します。



Cisco, Cisco IOS, Cisco Systems, and the Cisco Systems logo are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. or its affiliates in the United States and certain other countries. All other brands, names, or trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0501R)

Copyright © 2006 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

OL-11474-01-J



Cisco Unified IP Phone 7970 シリーズ 電話ガイド for Cisco Unified CallManager 5.1 (SCCP/SIP)

ソフトキーの定義

電話機のスクリーンのアイコン
ボタン アイコン

電話機の一般的なタスク

ソフトキーの定義

短縮	短縮ダイヤルのインデックス番号を使用してダイヤルする
応答	コールに応答する
戻る	前のヘルプ項目に戻る
割り込み	共有回線のコールに参加する
折り返し	話し中の内線が対応可能になったときに通知を受信する
キャンセル	変更を適用せずに操作をキャンセルまたは画面を終了する
C 割込	共有回線のコールに参加し、会議を開催する
不在	コール転送を設定またはキャンセルする
クリア	レコードまたは設定を削除する
閉じる	現在のウィンドウを閉じる
参加者	会議の参加者を表示する
会議	会議コールを発信する
削除	[編集] の使用時にカーソルの右側にある文字を削除する
詳細	不在履歴および着信履歴でマルチパーティコールの詳細レコードを開く
ダイヤル	電話番号をダイヤルする
D 転送	2 つのコールを相互に転送する
サイレント	サイレントをオフにする
編集	履歴に表示された番号を編集する
終了	現在のコールを切断する
削除	設定をデフォルトにリセットする
終了	前の画面に戻る
G ピック	別のグループで鳴っているコールに応答する

即転送	ボイスメッセージシステムにコールを送信する
参加	1本の回線上にある複数のコールを結合し、会議を開催する
リンク	関連のあるヘルプの項目を表示する
メイン	[ヘルプ]メインメニューを表示する
ミーティング	Meet-Me 会議コールを開催する
次へ	その他のソフトキーを表示する
発信	新しいコールをかける
他 Grp	関連付けられたグループで鳴っているコールに応答する
パーク	コールパークを使用してコールを保存する
ピックアップ	自分のグループでコールに応答する
品質	コールに関する問題をシステム管理者へ送信する
リダイヤル	最後にダイヤルした電話番号にリダイヤルする
削除	会議の参加者を削除する
復帰	保留状態のコールを復帰する
ドロップ	会議コールに最後に追加された参加者を削除する
保存	選択した設定を保存する
検索	ディレクトリリストを検索する
選択	メニュー項目またはコールを選択する
転送	コールを転送する
更新	内容を更新する
ビデオ	ビデオ表示モードを選択する
<<	入力した文字を削除する
>>	入力した文字の先に移動する

電話機のスクリーンのアイコン

回線およびコールの状態

	コール転送が有効
	コールの保留
	接続コール
	着信コール
	オフフック
	オンフック
	共有回線を使用中

安全なコール

	認証されたコール
	暗号化されたコール

選択されたデバイス

	ハンドセットを使用中
	ヘッドセットを使用中
	スピーカフォンを使用中

その他の機能

	短縮ダイヤル、履歴、またはディレクトリ内のビジョー回線 (BLF 機能)
---	--------------------------------------

	短縮ダイヤル、履歴、またはディレクトリ内のアイドル回線 (BLF 機能)
	短縮ダイヤル、履歴、またはディレクトリ内のリスト (回線ステータス不明)
	メッセージ受信
	ビデオが有効
	オプションが有効
	機能が有効
	電話機サービス URL が割り当て済み
	履歴の URL エントリが編集可能

ボタンアイコン

	メッセージ
	サービス
	ヘルプ
	ディレクトリ
	設定
	スピーカ
	ミュート
	ヘッドセット



Contents

はじめに 1

このガイドの使用方法 1

その他の情報の入手先 2

Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズ eLearning チュートリアルへのアクセス 2

安全および使用における情報 3

アクセシビリティ機能 5

電話機の接続 6

電話機の概要 9

ボタンとハードウェアについて 10

タッチスクリーンの機能 13

タッチスクリーンの項目の選択 14

タッチスクリーンのクリーニングと保守 15

機能ボタンとメニューについて 16

電話機のヘルプ システムについて 17

回線とコールの違いについて 18

回線およびコールのアイコンについて 18

録音トーンの認識 19

機能の可用性について 19

SIP と SCCP の違いについて 19

基本的なコール処理 20

コールの発信：基本的なオプション 20

コールの発信：追加オプション	21
コールへの応答	23
コールの終了	24
コールの保留と復帰	24
ミュートの使用	25
複数のコール間での切り替え	25
複数のコールの表示	26
コールの転送	27
ボイス メッセージ システムへのコールの送信	28
別の電話番号へのすべてのコールの転送	29
サイレントの使用	30
会議コールの使用方法	31
会議コールのタイプについて	31
標準の会議の開催と参加	32
Meet-Me 会議コールの開催または参加	34
応用的なコール処理	35
短縮ダイヤル	35
自分の電話機でのリダイレクトされたコールへの応答	37
共有回線の使用	38
共有回線について	38
共有回線のコールへの参加	39
他人による共有回線のコールの表示および割り込みの防止	40
パークされているコールの保存と取得	41
安全なコールの送受信	42
不審なコールのトレース	43
重要なコールの優先順位付け	44
Cisco エクステンション モビリティの使用	45
BLF の使用による回線の状態の確認	46

ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法	47
ヘッドセットの購入	48
自動応答の使用	49
電話機の設定の使用	50
呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ	50
タッチスクリーンのカスタマイズ	51
履歴およびディレクトリの使用	53
履歴の使用	53
ディレクトリ ダイヤリング	56
電話機での社内ディレクトリの使用	57
電話機でのパーソナル ディレクトリの使用	58
ボイス メッセージへのアクセス	61
Web での電話機のカスタマイズ	62
ユーザ オプション Web ページへのアクセス	63
Web での機能およびサービスの設定	64
Web でのパーソナル ディレクトリの使用	64
Web での個人アドレス帳の使用	64
Web でのファースト ダイアルの設定	65
アドレス帳同期化ツールの使用	66
Web での短縮ダイアルの設定	66
Web での電話機サービスの設定	67
Web でのユーザ設定の制御	69
Web での回線の設定の制御	70
Cisco WebDialer の使用	72

その他の設定オプションについて	74
電話機のトラブルシューティング	76
一般的なトラブルシューティング	76
電話管理データの表示	77
Quality Reporting Tool の使用	78
シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定	79
索引	



はじめに

このガイドの使用方法

このガイドでは、電話機で使用可能な機能の概要について説明しています。電話機の機能について確実に理解するには、このガイドをよく読んでください。次の表に、よく使用される項目を示します。

目的	操作または状態の説明
電話機について調べる	ヘルプが必要な場合は、  を押してください。
安全情報を参照する	P.3の「安全および使用における情報」を参照してください。
電話機を接続する	P.6の「電話機の接続」を参照してください。
設置後に電話機を使用する	P.9の「電話機の概要」を参照してください。
ボタンライトの意味を調べる	P.10の「ボタンとハードウェアについて」を参照してください。
タッチスクリーンについて調べる	P.13の「タッチスクリーンの機能」を参照してください。
コールを発信する	P.20の「コールの発信：基本的なオプション」を参照してください。
コールを保留にする	P.24の「コールの保留と復帰」を参照してください。
ミュートにする	P.25の「ミュートの使用」を参照してください。
コールを転送する	P.27の「コールの転送」を参照してください。
会議コールを発信する	P.31の「会議コールの使用方法」を参照してください。
短縮ダイヤルを設定する	P.35の「短縮ダイヤル」を参照してください。
電話番号を共有する	P.38の「共有回線の使用」を参照してください。
電話機をスピーカフォンとして使用する	P.47の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」を参照してください。
呼出音の音量またはトーンを変更する	P.50の「電話機の設定の使用」を参照してください。
不在履歴を表示する	P.53の「履歴の使用」を参照してください。
ボイスメッセージを聞く	P.61の「ボイスメッセージへのアクセス」を参照してください。
ソフトキーとアイコンの定義を参照する	このガイドの先頭にあるクイック リファレンス カードを参照してください。

その他の情報の入手先

WWW 上の次の URL から、Cisco Unified IP Phone の最新資料を入手することができます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/>

また、シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

シスコ製品の最新資料の日本語版は、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp>

Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズ eLearning チュートリアルへのアクセス

(SCCP 電話機のみ)

Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズ eLearning チュートリアルは、オーディオとアニメーションを使用して、基本的なコール機能を示します。一部の電話機モデルの eLearning チュートリアルには、ご使用のパーソナル コンピュータからオンラインでアクセスできます。次の URL にあるドキュメント リストで、ご使用の電話機モデルの eLearning チュートリアル（英語のみ）を参照してください。

http://cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html

安全および使用における情報

次の安全上の注意事項をお読みになってから、Cisco Unified IP Phone の設置と使用を始めてください。



警告

安全上の重要な注意事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止策をとるよう努めてください。警告の各国語版を参照するには、各注意事項の番号と、装置に付属の「Translation Safety Warnings」の番号を照らし合せてください。ステートメント 1071

これらの注意事項を保管しておいてください。



警告

必ず、取り付け手順を読んでから、システムを電源に接続してください。



警告

この製品を廃棄処分する際には、日本国の法律および地方自治体の条例または規則に従ってください。



警告

雷の発生中は、システムでの作業、またはケーブルの接続や取り外しを行わないでください。



警告

感電事故を防ぐために、安全超低電圧 (SELV) 回路を電話網電圧 (TNV) 回路に接続しないでください。LAN ポートには SELV 回路があり、WAN ポートには TNV 回路があります。一部の LAN ポートと WAN ポートは、いずれも、RJ-45 コネクタを使用しています。ケーブルを接続する場合には、注意してください。



注意

インライン電力回路は、通信ケーブルを介して電流を供給します。シスコが提供するケーブルまたは 24 AWG 以上の通信ケーブルを使用してください。

外付け電源装置の使用

次の警告は、Cisco Unified IP Phone を外付け電源装置と使用する場合に適用されます。



警告

この製品は、設置する建物に短絡（過電流）保護機構が敷設されていることが前提になっています。各相導体（すべての通電導体）に 120 VAC、15A（日本および米国）、または 240 VAC、10A（前記以外の国）以下のヒューズ、または回路ブレーカーが使用されていることを確認してください。



警告

この装置は、TN 電源システムを使用して動作するように設計されています。



警告

プラグとソケットは常に手を伸ばして利用できる状態にしておく必要があります。これは、プラグとソケットが主要な切断装置であるためです。



警告

電源装置は屋内に設置する必要があります。



注意

この製品では、シスコが指定する電源装置だけを使用してください。

停電

電話機で緊急サービスにアクセスできるかどうかは、電源が供給されている電話機に依存します。電源障害がある場合、電源が復旧するまで、利用および緊急コール サービスへのダイヤルは機能しません。電源の異常および障害が発生した場合は、装置をリセットまたは再設定してから、利用または緊急コール サービスへのダイヤルを行う必要があります。

外部デバイスの使用

次の情報は、Cisco Unified IP Phone で外部デバイスを使用する場合に適用されます。

シスコでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) がシールドされた高品質の外部デバイス (ヘッドセットなど) の使用を推奨しています。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次のいずれかの方法で対処してください。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、シールドおよびコネクタが高品質のケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、コネクタの品質については制御できないため、システム パフォーマンスを保証することはできません。良品質のケーブルおよびコネクタを使用して適切なデバイスを接続すると、十分なシステム パフォーマンスを得られます。



注意

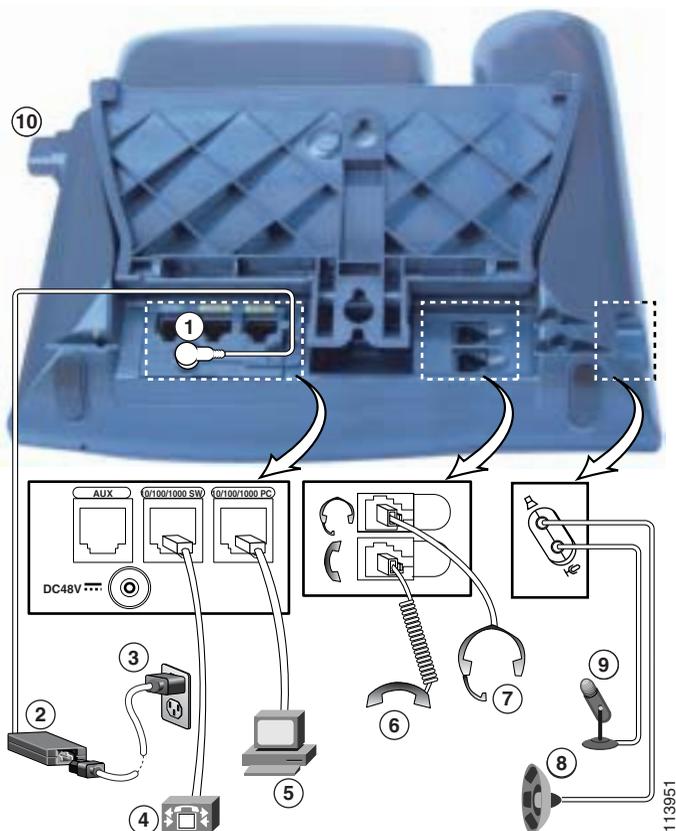
欧州連合諸国では、EMC Directive [89/336/EC] に完全に準拠した外部スピーカ、マイクロフォン、ヘッドセットだけを使用してください。

アクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能のリストをご希望の場合は、お問い合わせください。

電話機の接続

通常は、システム管理者が新しい Cisco Unified IP Phone を企業 IP テレフォニー ネットワークに接続します。それ以外の場合は、次の図および表を参照して、電話機を接続してください。



1	DC アダプタ ポート (DC48V)	6	ハンドセット ポート
2	AC-DC 電源装置	7	ヘッドセット ポート
3	AC 電源コード	8	将来の使用のための予備
4	ネットワーク ポート (10/100 ¹ SW)	9	将来の使用のための予備
5	アクセス ポート (10/100 ¹ PC)	10	フットスタンドボタン

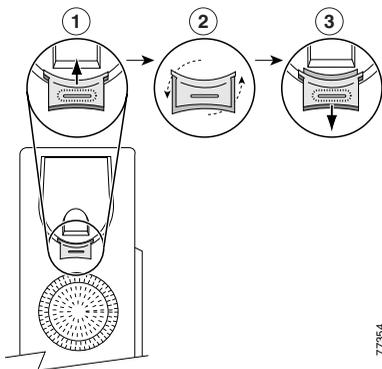
1. 電話機には 10/100/1000 と表示される場合もあります。

フットスタンドの調節

電話機本体の角度を変えるには、フットスタンド ボタンを押しながらフットスタンドを調節します。

ハンドセット受け台の調節

電話機を壁に取り付ける場合は特に、ハンドセット受け台を調整することをお勧めします。それにより、ハンドセットが受け台から滑り落ちにくくなります。次の表に手順を示します。



1	ハンドセットを外し、ハンドセットの受け台から四角いプラスチックのタブを引き出します。
2	タブを 180 度回します。
3	タブをハンドセットの受け台に再び差し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。ハンドセットを受け台に戻します。

TAPS (内線番号自動登録システム) への登録

電話機をネットワークに接続した後、システム管理者が Tool for Auto-Registered Phones Support (TAPS) を使用して電話機の自動登録を指示する場合があります。TAPS は、新しい電話機にも、既存の電話機を置き換える場合にも使用できます。

TAPS に登録するには、ハンドセットを取り上げて、システム管理者から提供された TAPS 内線番号を入力し、ボイス プロンプトに従います。地域コードを含む、完全な内線番号を入力するように指示される場合があります。電話機に確認メッセージが表示されたら、ハンドセットを置きます。電話機が再起動します。

ヘッドセットについて

ヘッドセットを使用するには、ヘッドセットを電話機の背面にあるヘッドセットポートに接続します。

シスコでは、Cisco Unified IP Phone で使用するサードパーティ製のヘッドセットについて社内でテストしていますが、ヘッドセットまたはハンドセットのベンダーによる製品については保証またはサポートしていません。Cisco Unified IP Phone の設置場所により、固有の環境およびハードウェアの不整合が発生する場合があります。すべての環境に適した1つの「最良」な解決策を提供することはできません。ネットワークに大量のヘッドセットを設置する前に、ヘッドセットをテストして、お客様の環境に最適かどうかを確認することをお勧めします。

たとえば、ヘッドセットの種類によっては、機械的または電子的な原因により、Cisco Unified IP Phone のユーザとリモートで通話している相手に、通話相手自身の声が反響して聞こえる場合があります。

シスコでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) が遮蔽された高品質の外部デバイス (ヘッドセットなど) の使用を推奨しています。これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。詳細については、[P.5 の「外部デバイスの使用」](#)を参照してください。

ヘッドセットのサポートが Cisco Unified IP Phone に適用されない主な理由は、ハム雑音が入る可能性です。この雑音は、リモートの通話相手のみ、またはリモートの通話相手と Cisco Unified IP Phone ユーザの両方に聞こえる場合があります。一部の雑音またはピープ音は、電灯および近くの電気モーターや大型の PC モニタなどの外的要因によって起こる可能性があります。場合によっては、ローカル電源キューブやパワー インジェクタを使用することにより、ユーザに聞こえる雑音を低減または解消することができます。詳細については、[P.4 の「外付け電源装置の使用」](#)を参照してください。

音質に対するユーザの主観

物理的、機械的、および技術的な性能以上に、ヘッドセットの音質がユーザと通話相手の双方にとって良質である必要があります。音声は主観的なものであるため、シスコはヘッドセットまたはハンドセットの性能を保証できません。ただし、次に示すサイトに記載されているヘッドセットおよびハンドセットは、Cisco Unified IP Phone で使用した場合の音声が高品質であることが報告されています。

これらを使用する場合でも、実際の環境で装置をテストして、性能が適しているどうかを判断するのは、最終的にお客様の責任となります。

ヘッドセットについては、次の URL を参照してください。

<http://www.vxicorp.com/cisco>

<http://www.plantronics.com/cisco>

電話機の概要

Cisco Unified IP Phone 7970 シリーズは、コンピュータで使用するデータ ネットワークで音声通信を行うためのすべての機能が搭載された電話機です。この電話機を使用してコールの発信および受信、保留、転送、会議コールの開設などの機能を使用できます。

Cisco Unified IP Phone 7970 シリーズでは、基本的なコール処理機能に加え、コール処理機能を拡張する生産性向上機能が用意されています。設定に応じて、次がサポートされます。

- ネットワーク データ、XML アプリケーション、および Web ベースのサービスへのアクセス
- 電話機の機能とサービスに対する、ユーザ オプション Web ページを使用したオンライン カスタマイズ
- 電話機のスクリーンに情報を表示する包括的なオンライン ヘルプ システム

ボタンとハードウェアについて

次の図で、ご使用の電話機のボタンとハードウェアを確認してください。

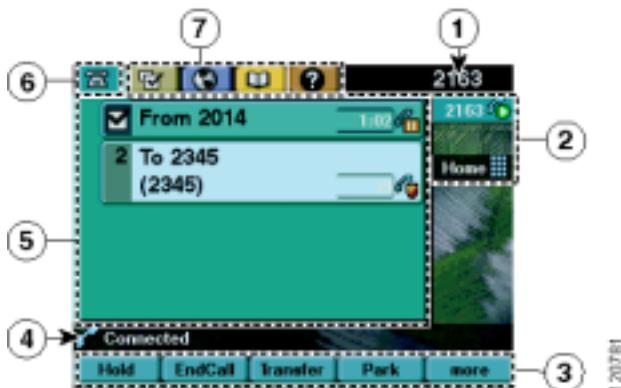


項目	説明	詳細の参照先
1 プログラマブルボタン 	<p>設定に応じて、プログラマブルボタンから次に示す項目にアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話回線（回線ボタン） 短縮ダイヤル番号（短縮ダイヤル ボタン、BLF 短縮ダイヤル機能を含む） Web ベースのサービス(個人アドレス帳ボタンなど) 電話機の機能（プライバシー ボタンなど） <p>表示されるボタンの色によって、回線の状態が次のように示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">  緑、点灯：アクティブなコール  緑、点滅：保留中のコール  オレンジ、点灯：プライバシー機能が有効  オレンジ、点滅：着信コール  赤、点灯：リモート回線が使用中(共有回線または BLF ステータス) 	<ul style="list-style-type: none"> タッチスクリーンの機能 (P.13) 基本的なコール処理 (P.20) 短縮ダイヤル (P.35) 共有回線の使用 (P.38) BLF の使用による回線の状態の確認 (P.46)
2 フットスタンド ボタン 	<p>電話機本体の角度を調節します。</p>	<p>P.7 の「フットスタンドの調節」</p>
3 ディスプレイボタン 	<p>タッチスクリーンをスリープ モードから戻したり、クリーニングのために無効にします。</p> <ul style="list-style-type: none">  色なし：入力可能な状態  緑、点滅：無効  緑、点滅：スリープ モード 	<p>P.15 の「タッチスクリーンのクリーニングと保守」</p>
4 メッセージボタン 	<p>ボイス メッセージ サービスに自動ダイヤルします（サービスによって異なります）。</p>	<p>P.61 の「ボイス メッセージへのアクセス」</p>
5 ディレクトリボタン 	<p>[ディレクトリ] メニューを開閉します。履歴およびディレクトリへのアクセスに使用します。</p>	<p>P.53 の「履歴の使用」</p>

6	ヘルプボタン 	[ヘルプ] メニューをアクティブにします。	P.17 の「電話機のヘルプシステムについて」
7	設定ボタン 	[設定] メニューを開閉します。これは、タッチスクリーンと呼出音の設定を変更するために使用します。	P.50 の「電話機の設定の使用」
8	サービスボタン 	[サービス] メニューを開閉します。	P.62 の「Web での電話機のカスタマイズ」
9	音量ボタン 	ハンドセット、スピーカフォン、およびヘッドセットの音量（オフフック）および呼出音の音量（オンフック）を制御します。	P.47 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」
10	スピーカボタン 	スピーカフォンモードのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンになっている場合は、ボタンが点灯します。	P.47 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」
11	ミュートボタン 	ミュート機能のオン / オフを切り替えます。ミュートがオンになっている場合は、ボタンが点灯します。	P.25 の「ミュートの使用」
12	ヘッドセットボタン 	ヘッドセットモードのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンになっている場合は、ボタンが点灯します。	P.47 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」
13	ナビゲーションボタン 	メニューのスクロールや項目の強調表示に使用します。電話機がオンフックになっている場合、発信履歴ログにある電話番号が表示されます。	P.53 の「履歴の使用」
14	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、およびメニュー項目の選択に使用します。	P.20 の「基本的なコール処理」
15	ソフトキーボタン 	タッチスクリーンに表示されたソフトキーのオプションをそれぞれアクティブにします。	P.13 の「タッチスクリーンの機能」
16	ハンドセットのライトストリップ	着信コールまたは新しいボイス メッセージがあることを示します。	P.61 の「ボイス メッセージへのアクセス」
17	タッチスクリーン	電話機の機能を表示します。	P.13 の「タッチスクリーンの機能」

タッチスクリーンの機能

次の図は、メインのタッチスクリーンの外観を示しています。アクティブなコールが存在し、いくつかの機能メニューが開いた状態になっています。



1	プライマリ電話回線	プライマリ電話回線の電話番号を表示します。
2	プログラマブルボタンインジケータ	プログラマブルボタン  は、電話回線ボタン、短縮ダイヤルボタン、電話機サービスボタン、電話機機能ボタンとして機能します。アイコンとラベルによって、これらのボタンがどのように設定されているかが示されます。アイコンについては、このガイドの先頭にあるクイックリファレンスカードの「 電話機のスクリーンのアイコン 」を参照してください。
3	ソフトキーのラベル	ソフトキーの機能をそれぞれ表示します。ソフトキーのラベルは、指で触れると選択できます。
4	ステータス行	オーディオモードのアイコン、ステータス情報、およびプロンプトを表示します。
5	コールアクティビティ領域	現在のコールを回線ごとに表示します。たとえば、発信者ID、通話時間、およびコールの状態などを、強調表示された回線ごとに表示します（標準の表示）。この領域の項目は、指で触れると選択できます。P.18の「 回線およびコールのアイコンについて 」およびP.26の「 複数のコールの表示 」を参照してください。

6	電話タブ	コール アクティビティを示します。このタブを押すと、必要に応じてコール アクティビティ領域に戻ります。
7	機能タブ	開いている機能メニューをそれぞれ示します。タブは、指で触れると選択できます。P.16の「機能ボタンとメニューについて」を参照してください。

タッチスクリーンの項目の選択

電話機のタッチスクリーン上の項目を選択する方法は3つあります。

タッチスクリーンの項目の選択方法	操作
項目を押す	指で触れて選択できるタッチスクリーンの項目を指で押すか軽くたたきます。 タッチスクリーンを押すときは指だけを使用してください。道具を使用すると画面に傷がつくおそれがあります。電話番号を押すと、電話機でその番号がダイヤルされます。
項目番号を指定する	キーパッドで該当する番号を押します。たとえば、メニューの4番目の項目を選択するには、4を押します。
項目までスクロールする	ナビゲーションボタンを押して、項目を強調表示します。ソフトキーを押して操作を終了するか、タッチスクリーン上の項目を指で軽くたたきます。

タッチスクリーンのクリーニングと保守

ディスプレイボタン  を使用して、タッチスクリーンを無効または有効にすることができます。ディスプレイボタンの色によって、タッチスクリーンの状態の変化が次のように示されます。

 緑、点灯：タッチスクリーンはスリープモード

 緑、点滅：タッチスクリーンは無効

目的	操作または状態の説明
クリーニングのためタッチスクリーンを無効にする	 を 1 秒以上押します。  が点灯します。スクリーンは、有効にしない限り、約 1 分間無効になります。
タッチスクリーンを有効にする（無効にした後）	 （点灯）を 1 秒以上押します。
タッチスクリーンをスリープモードから起動する	タッチスクリーンまたは任意のボタンを押すか、ハンドセットを取り上げます。 システム管理者によって決められた非アクティブ時間が経過すると、タッチスクリーンは節電のためスリープモードに入ります。このモードでは、タッチスクリーンには何も表示されず、  は点灯しています。



注意

タッチスクリーンを拭くときは、乾いた柔らかい布だけを使用します。電話機に液体や粉末をかけないでください。電話機の部品が痛み、故障の原因となる可能性があります。

機能ボタンとメニューについて

機能ボタンを押して、機能メニューを開閉します。

目的	操作または状態の説明
機能メニューを開閉する	次の機能ボタンを押します。  メッセージ  サービス  ヘルプ  ディレクトリ  設定
リストまたはメニューをスクロールする	ナビゲーションボタンを押します。
機能メニューの1つ前のレベルに戻る	[終了]を押します。メニューの最上位レベルで[終了]を押すと、メニューが閉じます。
開いている機能メニューを切り替える	タッチスクリーンで機能タブを押します。機能メニューごとに、対応するタブがあります。タブは機能メニューが開いているときに表示されます。

電話機のヘルプシステムについて

電話機には、包括的なオンライン ヘルプ システムが備わっています。ヘルプの項目はタッチスクリーンに表示されます。

目的	操作または状態の説明
メイン メニューを表示する	電話機の  を押し、メニューが表示されるまで数秒待ちます。メインメニューには、次の項目が含まれます。 <ul style="list-style-type: none">• Cisco Unified IP Phone について：電話機に関する詳細• 操作方法：電話機の一般的なタスクに関する手順• コール機能：コール機能に関する説明や手順
ボタンやソフトキーを確認する	 を押してから、すばやくボタンまたはソフトキーを押します。
メニュー項目を確認する	 を押してから、すばやくタッチスクリーンのメニュー項目を押します。または、メニュー項目を強調表示して  をすばやく 2 回押します。
ヘルプを使用してヘルプを表示する	 を押します。数秒待ってから  をもう一度押すか、またはメインメニューから [ヘルプ] を選択します。

回線とコールの違いについて

回線とコールを混同しないよう、次の説明を参照してください。

- 回線：他の人がコールを発信するために使用できる電話番号にそれぞれ対応しています。電話機は、最大8つの回線をサポートできます。電話機の回線を表示するには、タッチスクリーンの右側を見てください。回線の数は、電話番号および電話回線アイコンの数と同じです。
- コール：各回線では、複数のコールをサポートできます。デフォルトでは、電話機は回線ごとに4つの接続コールをサポートしますが、システム管理者は必要に応じてこの数を調整できます。アクティブとなり得るコールは常に1つに限定されるので、他のコールはすべて自動的に保留状態になります。

回線およびコールのアイコンについて

電話機には、回線およびコールの状態を示すアイコンが表示されます。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
	オンフック回線	この回線のコール アクティビティはありません。
	オフフック回線	電話番号のダイヤル中または発信コールの呼出音が鳴っている状態です。
	接続コール	通話相手に接続されている状態です。
	呼び出し中のコール	いずれかの回線でコールの呼出音が鳴っています。
	コールの保留	このコールが保留されています。P.24の「 コールの保留と復帰 」を参照してください。
	リモートで使用中	共有回線の別の電話機に、接続コールがあります。P.38の「 共有回線の使用 」を参照してください。
	認証されたコール	P.42の「 安全なコールの送受信 」を参照してください。
	暗号化されたコール	P.42の「 安全なコールの送受信 」を参照してください。
	アイドル回線 (BLF)	P.46の「 BLFの使用による回線の状態の確認 」を参照してください。
	ビジー回線 (BLF)	P.46の「 BLFの使用による回線の状態の確認 」を参照してください。

録音トーンの認識

システム管理者によって電話機が録音トーン（ビープ音ともいいます）をサポートするように設定されている場合は、コールの発信者と受信者にそのコールが記録されている可能性があることを示すビープ音が聞こえる場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

機能のアベイラビリティについて

電話機のシステムの設定によっては、この電話ガイドで示されている機能が使用できない場合や、機能が異なる場合があります。機能の操作方法またはアベイラビリティについては、社内のサポートデスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。

SIP と SCCP の違いについて

電話機は、Session Initiation Protocol (SIP) と Skinny Call Control Protocol (SCCP) のどちらかのシグナリングプロトコルに対応するように設定できます。この設定は、システム管理者が行います。

電話機の機能は、プロトコルによって異なります。この電話ガイドでは、どの機能がどのプロトコルに固有のものかを示します。電話機で使用されているプロトコルを知るには、システム管理者に問い合わせるか、電話機の  > [モデル情報] > [コール制御プロトコル] を選択します。

基本的なコール処理

一連の機能とサービスを使用して、基本的なコール処理を実行できます。機能の Availability はそれぞれ異なる可能性がありますので、詳細についてはシステム管理者に確認してください。

コールの発信：基本的なオプション

ここでは、Cisco Unified IP Phone でコールを発信する簡単な方法をいくつか示します。

目的	操作または状態の説明	詳細の参照先
ハンドセットを使用してコールを発信する	ハンドセットを取り上げ、番号を入力します。	P.9 の「電話機の概要」
スピーカフォンを使用してコールを発信する	 を押して、番号を入力します。	P.47 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」
ヘッドセットを使用してコールを発信する	 を押して、番号を入力します。または、  が点灯している場合は、[発信] を押して、番号を入力します。	P.47 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」
番号をリダイヤルする	[リダイヤル] を押して最後の番号をダイヤルするか、ナビゲーションボタンを押して（電話がアイドルの状態）、[発信履歴] を表示します。	P.53 の「履歴の使用」
別のコールがアクティブなときにコールを発信する（同じ回線を使用）	<ol style="list-style-type: none">1. [保留] を押します。2. [発信] を押します。3. 番号を入力します。	P.24 の「コールの保留と復帰」
履歴からダイヤルする	<ol style="list-style-type: none">1.  > [不在履歴] [着信履歴] または [発信履歴] を選択します。2. タッチスクリーン上のリストを押します。	P.53 の「履歴の使用」

ヒント

- ダイヤルトーンを聞かずにオンフックでダイヤルすることができます（プレダイヤル）。プレダイヤルするには、番号を入力してからオフフックにします。オフフックにするには、ハンドセットを取り上げるか、タッチスクリーンで番号を押すか、あるいは[ダイヤル]、、またはを押します。
- プレダイヤルすると、電話機は発信履歴ログから一致する番号（ある場合）を表示して、ダイヤルしている番号を予測しようとします。これは、自動ダイヤルと呼ばれます。自動ダイヤルで表示された番号に発信するには、その番号を押すか、その番号までスクロールしてオフフックにします。
- ダイヤル中に間違えた場合は、<<を押して番号を消去します。

コールの発信：追加オプション

電話機で利用できる特別な機能とサービスを使用して、コールを発信できます。これらの追加オプションの詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

目的	操作または状態の説明	詳細の参照先
別のコールがアクティブなときにコールを発信する（別の回線を使用）	<ol style="list-style-type: none">新しい回線のを押します。最初のコールが自動的に保留状態になります。番号を入力します。	P.24 の「 コールの保留と復帰 」
短縮ダイヤルを使用する	次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none">（短縮ダイヤル ボタン）を押します。固定短縮ダイヤル機能を使用します。ファースト ダイヤル機能を使用します。	P.35 の「 短縮ダイヤル 」
電話機の社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> > [社内ディレクトリ] を選択します（名前は異なる場合があります）。名前を入力し、[検索] を押します。リストの項目を強調表示して、オフフックにします。	P.53 の「 履歴の使用 」

目的	操作または状態の説明	詳細の参照先
Cisco WebDialer を使用して、パーソナル コンピュータの社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1. Web ブラウザを起動して、WebDialer 対応の社内ディレクトリのページへ移動します。 2. ダイヤルする番号をクリックします。 	P.72 の「Cisco WebDialer の使用」
Cisco CallBack を使用して、話し中または呼び出し中の内線が応対可能になったときに通知を受信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジー音または呼出音が聞こえているときに [折り返し] を押します。 2. 切断します。回線が空くと、電話機によって通知されます。 3. コールを再発信します。 	システム管理者
短縮ダイヤル、履歴、またはディレクトリ リストと関連付けられた回線が使用中であるかどうかを、その回線へのコールを発信する前に確認する	Busy Line Feature のインジケータを確認します。	P.46 の「BLF の使用による回線の状態の確認」
プライオリティ (Precedence) コールをかける (SCCP 電話機のみ)	MLPP アクセス番号を入力してから、電話番号を入力します。	P.44 の「重要なコールの優先順位付け」
個人アドレス帳 (PAB) のエントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  [パーソナルディレクトリ] を選択してログインします。 2. [個人アドレス帳] を選択し、リストを検索します。 	P.58 の「電話機でのパーソナル ディレクトリの使用」
課金コードまたはトラッキング コードを使用して発信する (SCCP 電話機のみ)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 番号をダイヤルします。 2. トーンの後、Client Matter Code (CMC) または Forced Authorization Code (FAC) を入力します。 	システム管理者
エクステンション モビリティ プロファイルを使用してコールを発信する	電話機でエクステンション モビリティ サービスにログインします。	P.45 の「Cisco エクステンション モビリティの使用」

コールへの応答

コールに回答するには、ハンドセットを取り上げるか、電話機で利用できるその他のオプションを使用します。

目的	操作または状態の説明	詳細の参照先
ヘッドセットで応答する	 が点灯していない場合は押します。または、  が点灯している場合は、[応答] または  (点滅) を押します。	P.47 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」
スピーカフォンで応答する	 、[応答] または  (点滅) を押します。	P.47 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」
接続コールから切り替えて新しいコールに回答する	[応答] を押すか、別の回線でコールの呼出音が鳴っている場合は、  (点滅) を押します。	P.24 の「コールの保留と復帰」
コール待機を使用して応答する	[応答] を押します。	P.24 の「コールの保留と復帰」
ボイス メッセージ システムにコールを送信する	[即転送] を押します。	P.28 の「ボイス メッセージ システムへのコールの送信」
コールに自動的に接続する	自動応答を使用します。	P.49 の「自動応答の使用」
別の電話機でパークされたコールを取得する	コール パークを使用します。	P.41 の「パークされているコールの保存と取得」
電話機を使用して、別の場所で鳴っているコールに回答する	コール ピックアップを使用します。	P.37 の「自分の電話機でのリダイレクトされたコールへの応答」
プライオリティ (Precedence) コールに回答する (SCCP 電話機のみ)	現在のコールを切断して [応答] を押します。	P.44 の「重要なコールの優先順位付け」

コールの終了

コールを終了するには、切断します。ここでは、さらに詳細を示します。

目的	操作または状態の説明
ハンドセットを使用しているときに切断する	ハンドセットを受け台に戻します。または【終了】を押します。
ヘッドセットを使用しているときに切断する	 を押します。または、ヘッドセットモードをアクティブしておくには、【終了】を押します。
スピーカフォンを使用しているときに切断する	 または【終了】を押します。
複数のコールがある場合に1つのコールだけを切断する	【終了】を押します。必要に応じて、コールの保留を解除しておきます。

コールの保留と復帰

コールを保留して復帰することができます。

目的	操作または状態の説明
コールを保留にする	<ol style="list-style-type: none">1. 保留状態にするコールが強調表示されていることを確認します。2. 【保留】を押します。
現在の回線にあるコールの保留を解除する	<ol style="list-style-type: none">1. 該当するコールが強調表示されていることを確認します。2. 【復帰】を押します。
別の回線にあるコールの保留を解除する	該当する回線の  （点滅）を押します。 この回線で保留になっているコールが1つの場合、コールは自動的に復帰します。複数のコールが保留になっている場合は、該当するコールまでスクロールし、【復帰】を押します。

ヒント

- コールが保留状態になっているとき、通常は音楽やビープ音が流れます。
- 保留状態のコールは、保留アイコンで示されます。

ミュートの使用

ミュートが有効な場合、コールの通信相手からの音声は聞こえますが、自分からの音声は通信相手に聞こえません。ミュートは、ハンドセット、スピーカフォン、またはヘッドセットとともに使用できます。

目的	操作または状態の説明
ミュートをオンにする	 を押します。
ミュートをオフにする	 を押します。

複数のコール間での切り替え

1 本または複数の回線で複数のコールを切り替えることができます。切り替え先のコールが自動的に強調表示されない場合は、タッチスクリーンで該当するコールを押すか、そのコールまでスクロールします。

目的	操作または状態の説明
同じ回線で接続されたコール間で切り替える	<ol style="list-style-type: none">切り替え先のコールが強調表示されていることを確認します。[復帰] を押します。 アクティブなコールが保留になり、選択したコールが復帰します。
異なる回線で接続されたコール間で切り替える	切り替え先の回線の  を押します。 回線で保留になっているコールが 1 つの場合、コールは自動的に復帰します。複数のコールが保留になっている場合は、該当するコールを強調表示し、[復帰] を押します。
接続コールから切り替えて呼び出し中のコールに応答する	[応答] を押すか、別の回線でコールの呼出音が鳴っている場合は、  (点滅) を押します。アクティブなコールが保留になり、選択したコールが復帰します。

複数のコールの表示

複数のコールが電話機でどのように表示されるかを理解することで、コール処理作業を整理しやすくなります。

標準表示モードでは、強調表示された回線のコールが電話機で次のように表示されます。

- 優先順位が最も高く、通話時間の最も長いコールがリストの先頭に表示されます。
- 同じタイプのコールは、まとめて表示されます。たとえば、通話したコールは先頭付近に、保留中のコールは末尾にまとめて表示されます。

次の追加メソッドを使用して、複数の回線で複数のコールを表示することができます。

目的	操作または状態の説明
別の回線のコールを表示する	<ol style="list-style-type: none">1.  を押します。2. すぐに回線ボタン  を押します。
コールの概要モードに切り替える	<p>強調表示された回線の  を押します。</p> <p>電話機はコールの概要モードに切り替えられ、回線ごとに1つだけのコールが表示されます。表示されるコールは、アクティブなコールまたは最も長い時間保留されているコールです。</p> <p>標準の表示モードに戻るには、 を押してから、すぐに回線ボタンを押します。</p>

コールの転送

接続コールは転送によってリダイレクトされます。転送先は、コールの転送先となる電話番号です。

目的	操作または状態の説明
転送先の相手と会話せずに コールを転送する	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブなコールで [転送] を押します。2. 転送先の電話番号を入力します。3. [転送] をもう一度押して転送を完了するか、[終了] を押してキャンセルします。 <p> (注) 電話機がオンフック転送をサポートしている場合は、切断によって転送を実行することもできます。</p>
転送先の相手と会話してから コールを転送する(打診転送)	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブなコールで [転送] を押します。2. 転送先の電話番号を入力します。3. 相手が応答するのを待ちます。4. [転送] をもう一度押して転送を完了するか、[終了] を押してキャンセルします。 <p> (注) 電話機がオンフック転送をサポートしている場合は、切断によって転送を実行することもできます。</p>
通信を継続せずに、2つの現在の コールを相互に転送する(直接転送、 SCCP 電話機のみ)	<ol style="list-style-type: none">1. スクロールして、回線上の任意のコールを強調表示します。2. [選択] を押します。3. 2番目のコールに対しても同じ処理を行います。4. 選択したコールの1つが強調表示されている状態で [D 転送] を押します(必要に応じて [次へ] を押して、[D 転送] を表示します)。2つのコールが相互に接続され、自分のコールは終了されます。 <p> (注) 発信者との通信を継続する場合は、代わりに [参加] を使用します。</p>
ボイスメッセージシステムに コールをリダイレクトする	[即転送] を押します。詳細については、 P.28 の「ボイスメッセージシステムへのコールの送信」 を参照してください。

ヒント

- オンフック転送が電話機で有効になっている場合は、切断してコールを完了することも、[転送] を押してから切断することもできます。
- オンフック転送が電話機で有効になっていない場合は、[転送] をもう一度押さずに切断すると、コールが保留状態になります。
- [転送] を使用して保留状態のコールをリダイレクトすることはできません。転送前にコールの保留を解除するには、[復帰] を押します。

ボイス メッセージ システムへのコールの送信

[即転送] を使用して、アクティブ、呼出中、または保留中のコールを自分のボイス メッセージ システムに送信できます。コールのタイプと電話機の設定によっては、[即転送] を使用して通話相手のボイス メッセージ システムにコールを送信することもできます。

- コールが最初から自分以外の誰かの電話機に送信されていた場合は、[即転送] でそのコールを自分のボイス メッセージ システムまたは本来のコール先のボイス メッセージ システムのどちらかにリダイレクトすることができます。このオプションは、システム管理者が使用可能にしておく必要があります。
- コールが直接送信された（転送されたのではない）場合、または使用している電話機が上記のオプションをサポートしていない場合、[即転送] を使用するとコールはその電話機ユーザのボイス メッセージ システムにリダイレクトされます。

目的	操作または状態の説明
アクティブ、呼出中、または保留中のコールをボイス メッセージ システムに送信する	[即転送] を押します。次のどちらかになります。 <ul style="list-style-type: none">• コールが自分のボイス メッセージ システムに転送されません。• 電話機のスクリーンに、自分のボイス メッセージ システムと本来のコール先のボイス メッセージ システムを選択できるメニューが表示されます。オプションを選択して、コールをリダイレクトします。

ヒント

電話機にメニューが表示され、選択前にメニューが非表示になっても、[即転送] をもう一度押すと、メニューが再表示されます。システム管理者に、タイムアウト値を現在より長く設定するように依頼することもできます。

別の電話番号へのすべてのコールの転送

[全てのコールの転送] を使用すると、自分の電話機にかかってくる着信コールを別の電話番号にリダイレクトできます。

目的	操作または状態の説明
プライマリ回線のコール転送を設定する	[不在] を押し、転送先の電話番号を入力します。
プライマリ回線のコール転送をキャンセルする	[不在] を押します。
プライマリ回線のコール転送が有効になっているかどうかを確認する	次のことを確認します。 <ul style="list-style-type: none">プライマリの電話番号の上にコール転送アイコン  が表示されている。ステータス行にコール転送の転送先番号が表示されている。
リモートまたはプライマリ回線以外でコール転送を設定またはキャンセルする	<ol style="list-style-type: none">ユーザ オプション Web ページにログインします (P.63 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。コール転送の設定にアクセスします (P.70 の「Web での回線の設定の制御」を参照してください)。 <p> (注) コール転送がプライマリ回線以外で有効になっている場合、電話機にはコール転送の状態が表示されません。その代替わりとして、ユーザ オプション Web ページで設定を確認する必要があります。</p>

ヒント

- コール転送の転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセスコードや地域コードをダイヤルします。
- 従来のアナログ電話機、または他の IP Phone にコールを転送することはできませんが、システム管理者がコール転送機能を社内の番号に制限している場合があります。
- コール転送は、電話回線固有です。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、転送されたコールを受信した人物から転送者への連絡を可能にする、コール転送オーバーライド機能を有効にできます。このオーバーライドが有効になると、転送先から転送者の電話に発信されたコールは転送されず、呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、電話回線のコール転送条件を変更できます。

サイレントの使用

(SIP 電話機のみ)

サイレント機能を使用して、電話機にかかってくる着信コールをビジー音でブロックできます。

目的	操作または状態の説明
サイレントをオンにする	<ol style="list-style-type: none"> > [デバイス設定] [コールの設定] [サイレント] を押します。[Yes] を選択し、[保存] を押します。 <p>ステータス行に [サイレント] と表示され、[サイレント] ソフトキーが追加されます。</p>
サイレントをオフにする	<p>[サイレント] ソフトキーを押すか、</p> <ol style="list-style-type: none"> > [デバイス設定] [コールの設定] [サイレント] を押します。[No] を選択し、[保存] を押します。

ヒント

- サイレントがオンの場合は、次のようになります。
 - サイレント ブロック機能は、自分の電話機のすべての回線に適用されます。
 - 着信コールは、電話機の不在履歴ディレクトリに記録されません。
- 電話機で [サイレント] と [不在] の両方が有効になっている場合は、着信コールに対して [不在] が優先されます。つまり、コールは転送され、発信者にビジー音は聞こえません。
- 電話機で [サイレント] が有効でない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

会議コールの使用方法

Cisco Unified IP Phone では、1 台の電話機の会話に 3 つ以上の個別のコールを結合して、会議コールを作成できます。

会議コールのタイプについて

会議コールには、標準の（アドホック）会議と Meet-Me 会議の 2 種類があります。

標準の会議コール

標準の会議は、必要性和電話機で使用できるソフトキーに応じて、次に示す方法で開催できます。

- **[会議]**: このソフトキーは、参加者それぞれにコールをかけることによって、標準の会議を開催するときに使用します。標準の会議コールは、ほとんどの電話機で利用可能なデフォルトの機能です。
- **[参加]**: このソフトキーは、すでに 1 つの回線にある複数のコールに参加することによって、標準の会議を開催するときに使用します (SCCP 電話機のみ)。
- **[C 割込]**: このソフトキーは、共有回線の既存のコールに自分を追加して、そのコールを標準の会議コールに切り替えるときに使用します。この機能は、共有回線を使用する電話機でのみ使用できます。

手順の詳細については、[P.32 の「標準の会議の開催と参加」](#)を参照してください。

Meet-Me 会議コール

Meet-Me 会議は、指定の時間に Meet-Me 電話番号をダイヤルすることによって作成できます。

手順の詳細については、[P.34 の「Meet-Me 会議コールの開催または参加」](#)を参照してください。

標準の会議の開催と参加

標準の（アドホック）会議では、1つのコールで3名以上の参加者が会話できます。

目的	操作または状態の説明
<ul style="list-style-type: none">参加者にコールを発信して会議を開催する既存の会議に新規参加者を追加する	<ol style="list-style-type: none">接続コールで[会議]を押します（必要に応じて[次へ]ソフトキーを押して、[会議]を表示します）。参加者の電話番号を入力します。コールが接続されるのを待ちます。参加者をコールへ追加するには、[会議]をもう一度押します。この手順を繰り返して、参加者を追加していきます。
2つ以上の既存のコールを結合して会議を開催する (SCCP 電話機のみ)	<ol style="list-style-type: none">単一の回線に2つ以上のコールがあることを確認します。会議に追加するコールを強調表示します。[選択]を押します。 選択したコールにアイコンが表示されます。追加するコールごとにこのプロセスを繰り返します。選択したコールのいずれかで、[参加]を押します（必要に応じて[次へ]ソフトキーを押して、[参加]を表示します）。 <p> (注) アクティブなコールが自動的に選択されます。</p>
会議に参加する	呼出音が鳴ったら電話機に応答します。
共有回線のコールに割り込んで会議を開催する	共有回線でコールを強調表示し、[C 割込]を押します（必要に応じて[次へ]ソフトキーを押して、[C 割込]を表示します）。
会議の参加者のリストを表示する	<ol style="list-style-type: none">アクティブな会議を強調表示します。[参加者]を押します。 会議に参加した順序に従って、参加者がリストに表示されます。最後に追加された参加者がリストの先頭になります。
参加者のリストを更新する	会議の参加者のリストを表示している状態で、[更新]を押します。
会議の開催者を確認する	会議のリストを表示している状態で、リストの末尾までスクロールして、会議の開催者（名前の横にアスタリスク(*)の付いた人物)を検索します。

目的	操作または状態の説明
会議に最後に追加された参加者を削除する	会議の参加者のリストを表示している状態で、[ドロップ]を押します。 参加者を削除できるのは、会議コールの開催者だけです。
会議の任意の参加者を削除する	1. 参加者の名前を強調表示します。 2. [削除]を押します。 参加者を削除できるのは、会議の開催者だけです。
会議への参加を終了する	切断するか、または [終了]を押します。

ヒント

- コールを会議に追加するには、それらのコールが同じ回線上にある必要があります。コールが異なる回線上にある場合は、[**会議**]または[**参加**]を使用する前に、それらのコールを1つの回線に転送します（[**参加**]を使用できるのはSCCP電話機のみ）。
- 電話機の設定内容によっては、会議を作成した後で切断すると、その会議が終了する場合があります。これを避けるには、会議を転送してから切断します。

Meet-Me 会議コールの開催または参加

Meet-Me 会議を使用すると、会議番号をダイヤルすることによって会議を開催または会議に参加することができます。

目的	操作または状態の説明
Meet-Me 会議を開催する	<ol style="list-style-type: none">1. システム管理者から Meet-Me 電話番号を取得します。2. 番号を参加者に配布します。3. 会議を開始する準備ができたなら、オフフックにして、ダイヤルトーンが聞こえてから [ミートミー] を押します。4. Meet-Me 会議番号をダイヤルします。 参加者は、ダイヤルすることによって会議に参加できます。 <p> (注) 開催者が参加する前に参加者が会議にコールを発信すると、ビジー音が聞こえます。その場合、参加者はコールを再発信する必要があります。</p>
Meet-Me 会議に参加する	<p>会議の開催者から提供された Meet-Me 会議番号をダイヤルします。</p> <p> (注) 開催者が参加する前に会議にコールを発信すると、ビジー音が聞こえます。その場合は、コールを再発信します。</p>
Meet-Me 会議を終了する	<p>すべての参加者が切断する必要があります。</p> <p>会議の開催者が切断しても、会議は自動的に終了しません。</p>

応用的なコール処理

応用的なコール処理のタスクには、特別な機能が伴うため、コール処理の需要や作業環境に応じて、システム管理者に電話機の設定を依頼します。

短縮ダイヤル

短縮ダイヤルを使用すると、インデックス番号を入力する、ボタンを押す、または電話機のスクリーンの項目を選択することによって、コールを発信できます。電話機は、設定に応じて、次の短縮ダイヤル機能をサポートできます。

- 短縮ダイヤル ボタン
- 固定短縮ダイヤル機能
- ファースト ダイヤル



- (注)**
- 短縮ダイヤル ボタンおよび固定短縮ダイヤルを設定するには、ユーザ オプション Web ページにアクセスする必要があります。P.63 の「[ユーザ オプション Web ページへのアクセス](#)」を参照してください。
 - ファースト ダイヤルを設定するには、パーソナル ディレクトリ機能にアクセスする必要があります。P.58 の「[電話機でのパーソナル ディレクトリの使用](#)」を参照してください。
 - あるいは、システム管理者が代わりに短縮ダイヤル機能を設定することもできます。
-

目的	操作または状態の説明
短縮ダイヤル ボタンを使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 短縮ダイヤル ボタンを設定します。P.66 の「Web での短縮ダイヤルの設定」を参照してください。 2. コールを発信するには、 (短縮ダイヤル ボタン) を押します。 <p> (注) 電話機が Busy Lamp Field (BLF; ビジー ランプ フィールド) 短縮ダイヤル機能をサポートする場合は、短縮ダイヤル番号が話し中であるかどうかを、ダイヤルする前に確認できます。P.46 の「BLF の使用による回線の状態の確認」を参照してください。</p>
固定短縮ダイヤル機能を使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 固定短縮ダイヤル コードを設定します。P.66 の「Web での短縮ダイヤルの設定」を参照してください。 2. コールを発信するには、固定短縮ダイヤル機能コードを入力して、[短縮] を押します。
ファースト ダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個人アドレス帳エントリを作成し、ファースト ダイヤル コードを割り当てます。P.64 の「Web でのパーソナル ディレクトリの使用」を参照してください。 2. コールを発信するには、電話機からファースト ダイヤル サービスにアクセスします。P.58 の「電話機でのパーソナル ディレクトリの使用」を参照してください。

自分の電話機でのリダイレクトされたコールへの応答

コール ピックアップを使用すると、同僚の電話機で呼び出し中のコールを自分の電話機にリダイレクトすることで応答できます。コール処理を同僚と共有する場合は、コール ピックアップを使用すると便利です。

目的	操作または状態の説明
コール ピックアップ グループ内の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none">次のいずれかの操作を実行します。<ul style="list-style-type: none">[ピック] ソフトキーが使用できる場合は、それを押します。[ピック] ソフトキーが使用できない場合は、オフフックにして [ピック] を表示してから、それを押します。 電話機が自動ピックアップをサポートしている場合は、これでコールに接続されます。コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
グループ外の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none">次のいずれかの操作を実行します。<ul style="list-style-type: none">[G ピック] ソフトキーを使用できる場合は、それを押します。[G ピック] ソフトキーが使用できない場合は、オフフックにして [G ピック] を表示してから、それを押します。グループ ピック コードを入力します。 電話機が自動ピックアップをサポートしている場合は、これでコールに接続されます。コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
自分のグループまたは関連付けられたグループ内の別の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none">次のいずれかの操作を実行します。<ul style="list-style-type: none">[他 Grp] ソフトキーを使用できる場合は、それを押します。[他 Grp] ソフトキーが使用できない場合は、オフフックにして [他 Grp] を表示してから、それを押します。 電話機が自動ピックアップをサポートしている場合は、これでコールに接続されます。コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。

ヒント

- [**ピック**] および [**G ピック**] を押すと、一番長く鳴り続けているコールに接続します。
- [**他 Grp**] を押すと、プライオリティが一番高いピックアップグループのコールに接続します。
- 回線が複数あり、プライマリ回線以外でコールに応答する場合は、まず、該当する回線の  を押してから、コール ピックアップのソフトキーを押します。

共有回線の使用

次の場合は、共有回線を使用するようシステム管理者から求められることがあります。

- 電話機が複数あり、電話番号を1つだけ使用したい場合
- コール処理タスクを同僚と共有する場合
- マネージャの代わりにコールを処理する場合

共有回線について

リモートで使用中のアイコン

リモートで使用中のアイコンは、回線を共有する別の電話機にコールが接続されている場合に表示されます。リモートで使用中のアイコンが表示されていても、通常どおり共有回線でコールを発信および受信できます。

コール情報の共有と割り込み

回線を共有する電話機は、共有回線で発信および受信されたコールに関する情報を表示します。この情報には、発信者 ID および通話時間が含まれます（例外については、「[プライバシー](#)」の節を参照してください）。

コール情報がこのように表示されることで、回線を共有する同僚や自分が、**[割り込み]**または**[C 割込]**を使用して、自分自身をコールに追加できます。[P.39](#)の「[共有回線のコールへの参加](#)」を参照してください。

プライバシー

自分のコールに関する情報を、回線を共有している同僚に見られないようにするには、プライバシー機能を有効にします。この機能により、同僚が自分のコールに割り込むのを防ぐこともできます。[P.32](#)の「[他人による共有回線のコールの表示および割り込みの防止](#)」を参照してください。



(注) 共有回線がサポートするコールの最大数は、電話機によって異なります。

共有回線のコールへの参加

電話機の設定によって、[割り込み] または [C 割込] を使用して、共有回線のコールに自分自身を追加できる場合があります。

目的	操作または状態の説明
共有回線が使用中かどうかを確認する	赤い回線ボタン  の横に、リモートで使用中のアイコン  があるかどうか探します。
共有回線における現在のコールの詳細を表示する	リモートで使用中の回線の赤い回線ボタン  を押します。プライベートコール以外はすべてタッチスクリーンのコール アクティビティ領域に表示されます。
[割り込み] ソフトキーを使用して共有回線のコールに自分自身を追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. コール (リモートで使用中) を強調表示します。 2. [割り込み] を押します (必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[割り込み] を表示します)。 他の参加者に対して自分の存在を知らせるピープ音が鳴ります。
[C 割込] ソフトキーを使用して共有回線のコールに自分自身を追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. コール (リモートで使用中) を強調表示します。 2. [C 割込] を押します (必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[C 割込] を表示します)。 他の参加者にトーンと短い中断音が聞こえ、電話機のスクリーンのコール情報が変更されます。
割り込みしたコールに会議の新しい参加者を追加する	<p>[C 割込] が使用できる場合はそれを使用してコールに割り込みます。</p> <p>[C 割込] は、[割り込み] と異なり、コールを標準の (アドホック) 会議コールに切り替えるので、新しい参加者を追加することができます。P.31 の「会議コールの使用方法」を参照してください。</p>
割り込みしたコールを終了する	<p>切断します。</p> <p>[割り込み] を使用した後でコールを切断すると、他の参加者に切断音が聞こえ、元のコールが続行します。</p> <p>[C 割込] を使用した後でコールを切断すると、回線に 3 名以上の参加者が残っている場合に限り、そのコールは会議コールとして続行します。</p>

ヒント

- 共有回線を使用している電話機でプライバシー機能を有効にしている場合、コール情報と割り込みのソフトキーは、回線を共有しているその他の電話機に表示されません。
- コールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合、[割り込み] を使用して参加していたコールから切断されます。

他人による共有回線のコールの表示および割り込みの防止

電話回線を共有している場合は、プライバシー機能を使用して、回線を共有する他人が共有回線のコールを表示したりコールに割り込み（コールに彼ら自身を追加）したりできないように防止できます。

目的	操作または状態の説明
他人が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりできないようにする	<ol style="list-style-type: none">1. [非通知]のを押します。2. プライバシー機能がオンになっていることを確認するには、オレンジの回線ボタンの横にある機能有効アイコンを確認します。
他人が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりできるようにする	<ol style="list-style-type: none">1. [非通知]のを押します。2. プライバシー機能がオフになっていることを確認するには、消灯している回線ボタンの横にある機能無効アイコンを確認します。

ヒント

- 自分の回線を共有している電話機がプライバシー機能を有効にしている場合、通常どおり共有回線を使用してコールを発信および受信できます。
- プライバシー機能は、自分の電話機のすべての共有回線に適用されます。その結果、複数の共有回線がある状態でプライバシー機能を有効にすると、同僚は自分のすべての共有回線のコールを表示またはコールに割り込みできなくなります。

パークされているコールの保存と取得

コールをパークすると、コールを保存し、Cisco Unified CallManager システムの別の電話機（同僚のデスクや会議室の電話機など）でコールを取得できます。

目的	操作または状態の説明
コールパークを使用してアクティブなコールを保存する	<ol style="list-style-type: none">1. コール中に、[パーク]を押します（必要に応じて[次へ]ソフトキーを押して、[パーク]を押します）。2. 電話機のスクリーンに表示されたコールパーク番号を書き留めます。3. 切断します。
パークされたコールを取得する	ネットワーク内の任意の Cisco Unified IP Phone でコールパーク番号を入力し、コールに接続します。



(注) パークされているコールを取得するまでの時間は制限されていて、その時間を過ぎると元の番号に戻って呼出音が鳴ります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

安全なコールの送受信

システム管理者が電話機システムをどのように設定したかによって異なりますが、電話機では安全なコールの送受信がサポートされます。

電話機では、次のタイプのコールがサポートされます。

- **認証されたコール**：コールに参加しているすべての電話機の ID が検証されています。
- **暗号化されたコール**：電話機が Cisco IP ネットワーク内で暗号化された音声（会話）を送受信しています。暗号化済みのコールは認証済みのコールでもあります。
- **ノンセキュア コール**：参加している電話機または接続の少なくとも 1 つでセキュリティ機能がサポートされていないか、電話機を検証できません。

目的	操作または状態の説明
コールのセキュリティ レベルを確認する	コール アクティビティ領域の右上、通話時間タイマーの横にあるセキュリティ アイコンが、次のいずれかの状態になっていることを確認します。  認証されたコール  暗号化されたコール コールがノンセキュアの場合は、いずれのセキュリティ アイコンも表示されません。
社内で安全なコールを発信できるかどうかを判断する	システム管理者にお問い合わせください。

 **(注)** 電話機でのセキュリティ機能の動作に影響を与える相互作用、制限、および限定事項があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

不審なコールのトレース

(SCCP 電話機のみ)

不審（迷惑）なコールを受信している場合、システム管理者は電話機に Malicious Call Identification (MCID) 機能を追加できます。この機能を使用すると、アクティブなコールを不審なコールとして識別できます。その結果、一連のトラッキングと通知のメッセージが自動的に発信されます。

目的	操作または状態の説明
システム管理者に不審なコールまたは嫌がらせのコールの受信を通知する	[迷惑呼] を押します。 電話機はトーンを再生し、「迷惑呼が成功しました」というメッセージを表示します。

重要なコールの優先順位付け

(SCCP 電話機のみ)

官庁のような特別な環境では、緊急または重要なコールを発信および受信しなければならない場合があります。この特別なコール処理が必要な場合は、電話機への Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) の追加をシステム管理者に依頼します。

次の用語に留意してください。

- *Precedence* : コールに関連付けられたプライオリティを示します。
- *Preemption* : プライオリティの低い既存のコールを終了して、電話機に送信されたプライオリティのより高いコールを受け入れる処理です。

目的または状態	操作または状態の説明
発信コールのプライオリティ レベル (Precedence) を選択する	対応するコールの Precedence 番号のリストについては、システム管理者にお問い合わせください。
プライオリティ (Precedence) コールをかける	電話番号の前に、システム管理者から提供された MLPP アクセス番号を入力します。
特別な (通常より速い) 呼出音または特別なコール待機のトーンが聞こえる	プライオリティ (Precedence) コールを受信しています。電話機のスクリーンの MLPP アイコンが、コールのプライオリティ レベルを示します。
コールのプライオリティ レベルを表示する	電話機のスクリーンの MLPP アイコンが、次のいずれかの状態になっていることを確認します。 <ul style="list-style-type: none">■ プライオリティ コール■ 中程度のプライオリティの (即時) コール■ プライオリティの高い (フラッシュ) コール■ プライオリティの最も高い (フラッシュ オーバーライド) コールまたはエグゼクティブ オーバーライド コール プライオリティの高い順に、コールのリストの先頭から表示されます。MLPP アイコンが表示されない場合、プライオリティ レベルは普通 (日常) です。
コールを中断する音が連続的に聞こえる	自分または他の参加者が、現在のコールに優先すべきコールを受信しています。すぐに切断して、プライオリティのより高いコールの呼出音が鳴るようにします。

ヒント

- MLPP が有効なコールを発信または受信すると、標準のトーンとは異なる特別な呼出音とコール待機のトーンが鳴ります。
- 無効な MLPP アクセス番号を入力すると、音声通知でエラーを警告されます。

Cisco エクステンション モビリティの使用

Cisco Extension Mobility (EM; エクステンション モビリティ) を使用すると、Cisco Unified IP Phone を一時的に自分の電話機として設定できます。EM にログインすると、電話機は、電話回線、機能、設定されたサービス、Web ベースの設定などのユーザ プロファイルを採用します。EM は、システム管理者に設定してもらう必要があります。

目的	操作または状態の説明
EM にログインする	<ol style="list-style-type: none">1.  >[EM Service]を選択します(名前は異なる場合があります)。2. (システム管理者から提供された) ユーザ ID と PIN を入力します。3. プロンプトが表示されたら、デバイス プロファイルを選択します。
EM からログアウトする	<ol style="list-style-type: none">1.  >[EM Service]を選択します(名前は異なる場合があります)。2. ログアウトするよう求めるプロンプトが表示されたら、[Yes] を押します。

ヒント

- EM を使用すると、一定の時間が経過した後で自動的にログアウトします。この時間制限は、システム管理者によって設定されます。
- ユーザ オプション Web ページを使用して EM プロファイルに加えた変更は、次に電話機で EM にログインしたときに有効になります。
- 電話機でのみ制御される設定は、EM プロファイルには保持されません。

BLF の使用による回線の状態の確認

設定に応じて、Busy Lamp Field (BLF; ビジー ランプ フィールド) 機能を使用して、電話機の短縮ダイヤルボタン、履歴、またはディレクトリリストに関連付けられた電話回線の状態を確認することができます。この回線にコールを発信することは、BLF ステータスにかかわらず可能です。この機能は、ダイヤルを妨げるものではありません。

目的	操作または状態の説明
短縮ダイヤル回線の状態を確認する	<p>回線番号のとなりのインジケータを確認します。次のいずれかが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> +  回線は使用中です。 +  回線はアイドルの状態です。 この回線では、BLF インジケータは使用できません。
履歴またはディレクトリに表示されている回線の状態を確認する	<p>回線番号のとなりのインジケータを確認します。次のいずれかが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 回線は使用中です。 回線はアイドルの状態です。 この回線では、BLF インジケータは使用できません。

ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法

電話機では、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンを使用できます。

目的	操作または状態の説明
ハンドセットを使用する	オフフックにするにはハンドセットを取り上げます。オンフックにするにはハンドセットを置きます。
ヘッドセットを使用する	<p>ヘッドセット モードのオン / オフを切り替えるには、を押します。ヘッドセットの使用中は、 や  など、電話機のすべてのコントロールにアクセスできます。</p> <p>自動応答を使用する場合は、P.49 の「自動応答の使用」を参照してください。</p> <p>ワイドバンドをサポートするヘッドセットを使用する場合は、電話機でワイドバンドの設定を有効にすると、オーディオの感度が上がる場合があります（この設定はデフォルトでは無効になっています）。この設定にアクセスするには、 > [ユーザ設定] > [オーディオ設定] > [ワイドバンドヘッドセット] を選択します。</p> <p>システム管理者に、電話機システムがワイドバンドを使用するように設定されているかどうかを確認します。システムがワイドバンド対応に設定されていない場合は、ワイドバンド ヘッドセットを使用してもオーディオの感度が上がったとは感じられない場合があります。ヘッドセットの詳細については、ご使用のヘッドセットのマニュアルを参照するか、システム管理者にお問い合わせください。</p>
スピーカフォンを使用する	<p>スピーカフォン モードのオン / オフを切り替えるには、を押します</p> <p>ハンドセットが受け台に置かれていて、 が点灯していないときに電話番号をダイヤル、またはコールに応答すると、通常はスピーカフォンモードが自動的に有効になります。</p>
コール中に(ハンドセットから)スピーカフォンまたはヘッドセットに切り替える	 または  を押し、ハンドセットを置きます。

目的	操作または状態の説明
コール中に(スピーカフォンまたはヘッドセットから)ハンドセットに切り替える	ボタンは何も押さずに、ハンドセットを取り上げます。
コールの音量レベルを調節する	<p>コール中またはダイヤル トーンが聞こえているときに  を押します。</p> <p>このアクションにより、使用しているデバイス(ハンドセット、スピーカフォン、またはヘッドセット)のボリュームが調節されます。</p> <p>[保存] を押して、将来のコールのために音量レベルを保存します。</p>

ヘッドセットの購入

電話機では、電話線が 4 本または 6 本のヘッドセットのジャックがサポートされています。ヘッドセットの購入については、[P.8 の「ヘッドセットについて」](#)を参照してください。

自動応答の使用

自動応答が有効になっている場合は、呼出音が 1 ~ 2 回鳴った後で電話機が着信コールに自動的に応答します。システム管理者は、スピーカフォンまたはヘッドセットのいずれかの使用時に自動応答するように設定します。大量の着信コールを受ける場合は、自動応答を使用すると便利です。

目的	操作または状態の説明
ヘッドセットで自動応答を使用する	<p>通話中以外も、ヘッドセット モードを有効（つまり、 が点灯している状態）にしておきます。</p> <p>ヘッドセット モードを有効にするには、次の手順を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none">• [終了] を押して切断します。• [発信] または [ダイヤル] を押して、新しいコールを発信します。 <p>電話機がヘッドセット モードで自動応答を使用するように設定されていると、 が点灯している場合に限り、コールが自動的に応答されます。その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。</p>
スピーカフォンで自動応答を使用する	<p>ハンドセットを受け台に置き、ヘッドセット モードを無効（ が消灯している状態）にしておきます。</p> <p>その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。</p>

電話機の設定の使用

呼出音のトーン、背景イメージ、およびその他の設定を調節することによって、Cisco Unified IP Phone を個人設定できます。

呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ

着信コールおよび新しいボイス メッセージを電話機で示す方法をカスタマイズできます。電話機の呼出音の音量を調節することもできます。

目的	操作または状態の説明
呼出音のトーンを回線ごとに変更する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [ユーザ設定] > [呼出音] を選択します。2. 電話回線またはデフォルトの呼出音の設定を選択します。3. 呼出音のタイプを選択してそのサンプルを再生します。4. [選択] と [保存] を押して呼出音のトーンを設定するか、[キャンセル] を押します。
回線ごとに呼出音のパターン (点滅のみ、一度だけ鳴らす、ピープ音のみなど) を変更する	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.63 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。2. コール呼出音のパターンの設定にアクセスします (P.70 の「Web での回線の設定の制御」を参照してください)。 <p> (注) ユーザがこの設定にアクセスする前に、システム管理者がこの設定を有効にしておく必要があります。</p>
電話機の呼出音の音量レベルを調節する	ハンドセットが受け台に置かれていて、ヘッドセットとスピーカフォンのボタンがオフになっている状態で、  を押します。設定した呼出音の音量が自動的に保存されます。

目的	操作または状態の説明
ハンドセットにあるボイスメッセージのランプの動作を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.63 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。 2. メッセージ インジケータの設定にアクセスします (P.70 の「Web での回線の設定の制御」を参照してください)。 <p> (注) 通常、デフォルトのシステム ポリシーでは、ハンドセットのライト ストリップのランプが点灯することにより、新しいボイス メッセージがあることを示します。</p>

タッチスクリーンのカスタマイズ

タッチスクリーンの設定は変更できます。

目的	操作または状態の説明
タッチスクリーンの明るさを変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [ユーザ設定] > [明るさ] を選択します。 2. 明るさを調節するには、[アップ] [ダウン] または  を押します。 3. [保存] を押すか、[キャンセル] を押します。
タッチスクリーンの表示角度を調節する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [ユーザ設定] > [表示角度] を選択します。 2. 表示角度を調節するには、[アップ] [ダウン] または  を押します。 3. [保存] を押すか、[キャンセル] を押します。
背景イメージを変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [ユーザ設定] > [背景イメージ] を選択します。 2. 使用可能なイメージをスクロールし、[選択] を押してイメージを選択します。 3. 背景イメージをより大きく表示して確認するには、[プレビュー] を押します。 4. 選択メニューに戻るには、[終了] を押します。 5. [保存] を押して新しいイメージを受け入れるか、[キャンセル] を押します。
タッチスクリーンを有効または無効にする	P.15 の「 タッチスクリーンのクリーニングと保守 」を参照してください。

目的	操作または状態の説明
タッチスクリーンの言語を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.63 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。 2. ユーザ設定にアクセスします (P.69 の「Web でのユーザ設定の制御」を参照してください)。
回線テキスト ラベルを変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.63 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。 2. 回線ラベルの設定にアクセスします (P.70 の「Web での回線の設定の制御」を参照してください)。
Cisco Unified IP Phone 拡張モジュール 7914 のコントラストを調節する (拡張モジュールを備えた SCCP 電話機の場合のみ)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [ユーザ設定] > [コントラスト] を選択します。 2. コントラストを調節するには、[アップ]、[ダウン]、または  を押します。 3. [保存] を押すか、[キャンセル] を押します。
タッチスクリーンの照明をオフにする	システム管理者に連絡し、このオプション機能が使用可能になっているかどうかを確認します。この機能により、タッチスクリーンの照明をあらかじめ決めておいた時間 (システム管理者が設定) にオフにすることができます。

履歴およびディレクトリの使用

この項では、履歴およびディレクトリの使用方法を説明します。両方の機能にアクセスするには、ディレクトリボタン  を使用します。

履歴の使用

電話機は、履歴を保持しています。履歴には、コールに関する不在履歴、発信履歴、および着信履歴があります。

目的	操作または状態の説明
履歴を表示する	 > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。それぞれに最大 100 件までのレコードを保存できます。
1 つのコール レコードを表示する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。2. コール レコードを強調表示します。3. [詳細] を押します。この操作により、着呼番号、発呼番号、時刻、通話時間などの情報 (発信履歴と着信履歴の場合のみ) が表示されます。
すべての履歴からすべてのコール レコードを削除する	 を押してから、[クリア] を押します。
1 つの履歴からすべてのコール レコードを削除する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。2. コール レコードを強調表示します。3. [クリア] を押します (必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[クリア] を表示します)。
1 つのコール レコードを削除する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。2. コール レコードを強調表示します。3. [削除] を押します。

目的	操作または状態の説明
履歴からダイヤルする (別のコールで使用されていないとき)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [不在履歴]、[発信履歴]、または [着信履歴] を選択します。 2. コールレコードを強調表示します。 3. 表示された番号を編集する必要がある場合は、[編集] を押してから << または >> を押します。番号を削除するには、[編集] を押してから [削除] を押します (必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[削除] を表示します)。 4. コールを発信するには、オフフックにします。
履歴からダイヤルする (別のコールに接続されているとき)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [不在履歴]、[発信履歴]、または [着信履歴] を選択します。 2. コールレコードを強調表示します。 3. 表示された番号を編集する必要がある場合は、[編集] を押してから << または >> を押します。番号を削除するには、[編集] を押してから [削除] を押します (必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[削除] を表示します)。 4. [ダイヤル] を押します 5. 元のコールを処理するメニュー項目を次のいずれかから選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [保留]: 最初のコールを保留にして、2番目のコールをダイヤルします。 • [転送]: 最初の通話相手を 2番目の通話相手に転送し、自分のコールを終了します (操作を完了するには、ダイヤルした後で [転送] をもう一度押します)。 • [会議]: 自分とすべての通話相手との間で会議コールを作成します (操作を完了するには、ダイヤルした後で [会議] をもう一度押します)。 • [終了]: 最初のコールを切断して、2番目のコールをダイヤルします。

目的	操作または状態の説明
履歴内の回線が使用中であるかどうかを、その回線にコールを発信する前に確認する（SCCP 電話機のみ）	ビジー ランプ フィールドのインジケータを確認します。 P.46 の「BLF の使用による回線の状態の確認」 を参照してください。
履歴の URL エントリからコールを発信する（SIP 電話機のみ）	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [不在履歴]、[発信履歴]、または [着信履歴] を選択します。 2. ダイヤルする URL エントリを強調表示します。 3. エントリを編集する必要がある場合は、[編集] を押します。 4. @ アイコンが表示され、URL エントリの文字の編集を開始できることが示されます。 5. [ダイヤル] を押します

ヒント

(SCCP 電話機のみ)

マルチパーティ コール（転送されてきたコールなど）の完全なコール レコードを表示するには、該当のコール レコードを強調表示して、[詳細] を押します。詳細レコードでは、不在または着信のマルチパーティ コールごとに 2 つのエントリが表示されます。エントリは、新しい順にリストされます。

- 最初に記録されるエントリは、電話機で受信したマルチパーティ コールのうち、最後に完了したコールの名前と番号です。
- 2 番目に記録されるエントリは、電話機で受信したマルチパーティ コールのうち、最初に完了したコールの名前と番号です。

ディレクトリダイヤリング

設定に応じて、電話機で社内ディレクトリ機能およびパーソナル ディレクトリ機能をサポートできます。

- 社内ディレクトリ：ご使用の電話機でアクセスできる社内の連絡先です。社内ディレクトリは、システム管理者がセットアップし、保守します。
- パーソナル ディレクトリ：使用可能な場合、ご使用の電話機およびユーザ オプション Web ページから設定およびアクセスできる個人用の連絡先および関連付けられた短縮ダイヤル コードです。パーソナル ディレクトリは、Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳) とファースト ダイヤルで構成されます。
 - PAB は、個人用の連絡先のディレクトリです。
 - ファースト ダイヤルを使用すると、すばやくダイヤルできるように、コードを PAB エントリに割り当てることができます。

電話機での社内ディレクトリの使用

社内ディレクトリを使用して、同僚にコールを発信できます。

目的	操作または状態の説明
社内ディレクトリからダイヤルする（別のコールで使用されていないとき）	<ol style="list-style-type: none">1.  > [社内ディレクトリ] を選択します（名前は異なる場合があります）。2. キーパッドを使用して、完全な名前または名前の一部を入力し、[検索] を押します。3. ダイヤルするには、リスト項目を押すか、リスト項目までスクロールしてオフフックにします。
社内ディレクトリからダイヤルする（別のコールで使用されているとき）	<ol style="list-style-type: none">1.  > [社内ディレクトリ] を選択します（名前は異なる場合があります）。2. キーパッドを使用して、完全な名前または名前の一部を入力し、[検索] を押します。3. リスト項目までスクロールし、[ダイヤル] を押します。4. 元のコールを処理するメニュー項目を次のいずれかから選択します。<ul style="list-style-type: none">• [保留]: 最初のコールを保留にして、2番目のコールをダイヤルします。• [転送]: 最初の通話相手を2番目の通話相手に転送し、自分のコールを終了します（操作を完了するには、ダイヤルした後で[転送]をもう一度押します）。• [会議]: 自分とすべての通話相手との間で会議コールを作成します（操作を完了するには、ダイヤルした後で[会議]をもう一度押します）。• [終了]: 最初のコールを切断して、2番目のコールをダイヤルします。
ディレクトリ内の電話回線が使用中であるかどうかを確認する	Busy Lamp Field (BLF; ビジー ランプ フィールド) のインジケータを確認します。P.46の「 BLFの使用による回線の状態の確認 」を参照してください。

ヒント

電話機のスクリーンで文字を入力するには、キーパッドの番号を使用します。入力フィールド間を移動するには、電話機でナビゲーションボタンを使用します。

電話機でのパーソナルディレクトリの使用

パーソナルディレクトリ機能セットには、Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳) とファーストダイヤルが含まれています。この項では、電話機でのパーソナルディレクトリの設定方法および使用方法について説明します。または、P.64の「Webでのパーソナルディレクトリの使用」を参照してください。

目的	操作または状態の説明
パーソナルディレクトリにアクセスする(PABおよびファーストダイヤルコードを使用する場合)	<ol style="list-style-type: none">1.  > [パーソナルディレクトリ] を選択します (名前は異なる場合があります)。2. Cisco Unified CallManager のユーザ ID と PIN を入力し、[送信] を押します。
PAB エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none">1. パーソナルディレクトリにアクセスし、[個人アドレス帳] を選択します。2. 検索条件を入力し、[送信] を押します。3. [前へ] または [次へ] を選択して、リスト内を移動できます。4. 必要な PAB リスト項目を強調表示し、[選択] を押します。
PAB エントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none">1. リスト項目を検索します。2. そのリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。3. [ダイヤル] を押します (必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[ダイヤル] を表示します)。4. 参加者の電話番号を入力します。5. ダイヤルする番号を強調表示し、[OK] を押します。6. もう一度 [OK] を押して、その番号にダイヤルします。
PAB エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none">1. リスト項目を検索します。2. そのリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。3. [削除] を押します。4. [OK] を選択して、削除することを確認します。
PAB エントリを編集する	<ol style="list-style-type: none">1. リスト項目を検索します。2. そのリスト項目を強調表示し、[編集] を押して、名前または電子メールアドレスを修正します。3. 必要に応じて、[電話] を選択して電話番号を修正します。4. [更新] を押します。

目的	操作または状態の説明
新規 PAB エントリを追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. パーソナルディレクトリにアクセスし、[個人アドレス帳] を選択します。 2. [送信] を選択することで、[検索] ページにアクセスします（最初に検索情報を入力する必要はありません）。 3. [新規] を押します。 4. 電話機のキーパッドを使用して、名前と電子メール情報を入力します。 5. [電話] を選択し、キーパッドを使用して電話番号を入力します。必要なアクセスコード（9または1など）を必ず含めます。 6. [送信] を選択して、エントリをデータベースに追加します。
ファーストダイヤルコードを PAB エントリに割り当てる	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. そのリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。 3. [ファーストダイヤル] を押します。 4. ダイヤルする番号を強調表示し、[選択] を押します。 5. 番号に割り当てるファーストダイヤルコードを強調表示し、[選択] を押します。
新規ファーストダイヤルコードを追加する(PAB エントリを使用しない場合)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [パーソナルディレクトリ] > [個人ファーストダイヤル] を選択します。 2. [ファーストダイヤル] を押します。 3. 割り当てられていないファーストダイヤルコードを強調表示し、[選択] を押します。 4. [割り当て] を押します。 5. 電話番号を入力します。 6. [更新] を押します。
ファーストダイヤルコードを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [パーソナルディレクトリ] > [個人ファーストダイヤル] を選択します。 2. [前へ] または [次へ] を選択して、リスト内を移動できます。 3. 必要なリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。
ファーストダイヤルコードを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファーストダイヤルコードを検索します。 2. 必要なリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。 3. [ダイヤル] を押します 4. [OK] を選択して、操作を完了します。

目的	操作または状態の説明
ファースト ダイアル コードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファースト ダイアル コードを検索します。 2. 必要なリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。 3. [削除] を押します。
パーソナル ディレクトリ からログアウトする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [パーソナルディレクトリ] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. [ログアウト] を選択します。

ヒント

- システム管理者は、ユーザがパーソナル ディレクトリにログインするために必要なユーザ ID および PIN を指定できます。
- パーソナル ディレクトリを使用すると、一定の時間が経過した後で自動的にログアウトします。この時間制限は、設定によって異なります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- 電話機のスクリーンで文字を入力するには、キーパッドの番号を使用します。入力フィールド間を移動するには、電話機でナビゲーションボタンを使用します。

ボイス メッセージへのアクセス

ボイス メッセージにアクセスするには、メッセージ ボタン  を使用します。



(注) お使いの電話機システムが使用するボイス メッセージ サービスは、会社によって決定されま
す。詳細については、ボイス メッセージ サービスに付属のマニュアルを参照してください。

目的	操作または状態の説明
ボイス メッセージ サービス の個人設定を行う	 を押し、音声の指示に従います。 タッチスクリーンにメニューが表示された場合は、該当するメニュー 項目を選択します。
新しいボイス メッセージの 着信を確認する	次のことを確認します。 <ul style="list-style-type: none">• ハンドセットの赤いランプの点灯(このインジケータは異なる場合 があります。P.50 の「呼出音およびメッセージ インジケータのカ スタマイズ」を参照してください)。• メッセージ受信アイコン  の点滅、およびタッチスクリーンのテ キストメッセージ
ボイスメッセージを聞く、ま たはボイス メッセージ メ ニューにアクセスする	 を押します。 このボタンを押すことにより、メッセージ サービスに自動ダイヤルさ れるか、またはタッチスクリーンにメニューが表示されます。この動 作は、お使いのボイス メッセージ サービスによって異なります。
ボイス メッセージ システム にコールを送信する	[即転送] を押します。詳細については、P.28 の「 ボイス メッセージ システムへのコールの送信 」を参照してください。

Web での電話機のカスタマイズ

Cisco Unified IP Phone は、社内の他のネットワーク デバイス (コンピュータを含む) と情報を共有できるネットワーク デバイスです。コンピュータを使用して Cisco Unified CallManager ユーザ オプション Web ページにログインできます。そのページから、Cisco Unified IP Phone の機能、設定、およびサービスを制御できます。たとえば、ユーザ オプション Web ページで短縮ダイヤル ボタンを設定できます。

ユーザ オプション Web ページへのアクセス

この項では、ログイン方法と電話機の選択方法について説明します。

目的	操作
ユーザ オプション Web ページにログインする	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション ページの URL、ユーザ ID、およびデフォルトのパスワードをシステム管理者から入手します。2. コンピュータで Web ブラウザを起動し、URL を入力してログインします。3. セキュリティ設定を受け入れるように求められた場合は、[はい]または [証明書インストール] をクリックします。 <p>Cisco Unified CallManager ユーザ オプションのメイン Web ページが表示されます。このページで [ユーザオプション] を選択すると、ユーザ設定、ディレクトリ機能、個人アドレス帳、およびファーストダイヤルにアクセスできます。</p> <p>または、電話機固有のオプションにアクセスするには、デバイスを選択します (次を参照)。</p>
ログイン後にデバイスを 選択する	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインした後に、[ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 <p>[デバイス設定] ページが表示されます。</p> <ol style="list-style-type: none">2. 複数のデバイスを割り当てられているユーザの場合は、適切なデバイス (電話機のモデルやエクステンション モビリティ プロファイル) が選択されていることを確認します。必要に応じて、[名前] ドロップダウンメニューから別のデバイスを選択します。 <p>[デバイス設定] ページから、ご使用の電話機で使用可能なすべての設定オプションにアクセスできます (他のページの場合、すべてのオプションにはアクセスできない場合があります)。</p> <ul style="list-style-type: none">- [ユーザオプション] を選択して、[ユーザ設定] [ディレクトリ] [個人アドレス帳]、および [ファーストダイヤル] にアクセスします。- ツールバーのボタンを選択して、回線の設定、電話機サービスの設定、および短縮ダイヤルなどの電話機固有のオプションにアクセスします。 <p>他のページから [デバイス設定] ページに戻るには、[ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。</p>

Web での機能およびサービスの設定

この項では、ログイン後、ユーザ オプション Web ページで機能およびサービスを設定する方法について説明します。ログインについては、P.63 の「[ユーザ オプション Web ページへのアクセス](#)」を参照してください。

Web でのパーソナル ディレクトリの使用

コンピュータでアクセスできるパーソナル ディレクトリ機能セットは、次の要素で構成されています。

- Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳)
- ファースト ダイヤル
- Cisco Unified CallManager Address Book Synchronizer



(注) PAB およびファースト ダイヤルには、電話機からもアクセスできます。P.58 の「[電話機でのパーソナル ディレクトリの使用](#)」を参照してください。

Web での個人アドレス帳の使用

この項では、ユーザ オプション Web ページから PAB を使用する方法について説明します。

目的	ログイン後に必要な操作
新規 PAB エントリを追加する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [個人アドレス帳] を選択します。2. [新規] をクリックします。3. エントリの情報を入力します。4. [保存] をクリックします。
PAB エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [個人アドレス帳] を選択します。2. 検索情報を指定し、[検索] をクリックします。
PAB エントリを編集する	<ol style="list-style-type: none">1. PAB エントリを検索します。2. 名前またはニックネームをクリックします。3. エントリを必要に応じて編集し、[保存] をクリックします。
PAB エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none">1. PAB エントリを検索します。2. 1 つまたは複数のエントリを選択します。3. [選択項目の削除] をクリックします。

Web でのファーストダイヤルの設定

この項では、ユーザ オプション Web ページからファーストダイヤルを割り当てる方法について説明します。

目的	ログイン後に必要な操作
ファーストダイヤルコードを PAB エントリに割り当てる	<ol style="list-style-type: none">1. PAB エントリを作成します。P.64 の「Web での個人アドレス帳の使用」を参照してください。2. [ユーザオプション]>[ファーストダイヤル]を選択します。3. [新規追加]をクリックします。4. 必要に応じて、ファーストダイヤルコードを変更します。5. [検索オプション]領域を使用して、適切な PAB エントリを検索します。6. [検索結果]領域で電話番号をクリックします。7. [保存]をクリックします。
ファーストダイヤルコードを電話番号に割り当てる (PAB エントリを使用しない場合)	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション]>[ファーストダイヤル]を選択します。2. [新規追加]をクリックします。3. 必要に応じて、ファーストダイヤルコードを変更します。4. 電話番号を入力します。5. [保存]をクリックします。
ファーストダイヤル エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション]>[ファーストダイヤル]を選択します。2. 検索情報を指定し、[検索]をクリックします。
ファーストダイヤル電話番号を編集する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション]>[ファーストダイヤル]を選択します。2. 編集するファーストダイヤル エントリを検索します。3. エントリのコンポーネントをクリックします。4. 電話番号を変更します。5. [保存]をクリックします。
ファーストダイヤル エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none">1. ファーストダイヤルを検索します。2. 1 つまたは複数のエントリを選択します。3. [選択項目の削除]をクリックします。

ヒント

- ファーストダイヤルと PAB のエントリは、最大 500 個まで作成できます。
- 新しいファーストダイヤル エントリは、PAB エントリを使用することなく作成できます。このようなファーストダイヤル エントリには、ユーザ オプション Web ページで「raw」というラベルが付けられます。設定可能なテキスト ラベルは表示されません。

アドレス帳同期化ツールの使用

Cisco Unified CallManager Address Book Synchronizer を使用して、既存の Microsoft Windows アドレス帳を（適切な場合は）PAB と同期化することができます。それによって、Cisco Unified IP Phone およびユーザ オプション Web ページで、Microsoft Windows アドレス帳のエントリにアクセスできるようになります。システム管理者は、Cisco Unified CallManager Address Book Synchronizer へのアクセスおよび使用方法の詳しい説明を提供できます。

Web での短縮ダイヤルの設定

電話機は、設定に応じて、次の短縮ダイヤル機能をサポートできます。

- 短縮ダイヤル ボタン
- 固定短縮ダイヤル機能
- ファースト ダイヤル



〔注〕 短縮ダイヤル機能の使用方法については、P.35 の「短縮ダイヤル」を参照してください。

目的	ログイン後に必要な操作
短縮ダイヤル ボタンを設定する	<ol style="list-style-type: none">1. デバイスを選択します。2. 〔短縮ダイヤル〕 をクリックします。3. 電話機の短縮ダイヤル ボタン（プログラマブル ボタン）の番号とラベルを入力します。4. 〔保存〕 をクリックします。 <p> 〔注〕 2 バイト文字セットをサポートしていない電話機は、ASCII ラベルフィールドを使用します。</p>
固定短縮ダイヤルを設定する	<ol style="list-style-type: none">1. デバイスを選択します。2. 〔短縮ダイヤル〕 をクリックします。3. 固定短縮ダイヤル コードの番号とラベルを入力します。4. 〔保存〕 をクリックします。
ファーストダイヤルを設定する	<p>P.65 の「Web でのファーストダイヤルの設定」を参照してください。</p> <p>ファーストダイヤルは、電話機からも設定できます。P.58 の「電話機でのパーソナルディレクトリの使用」を参照してください。</p>

ヒント

短縮ダイヤル ボタンは、電話機上の、回線ボタンとして予約されていない各プログラマブル ボタンに設定できます。もしくは、固定短縮ダイヤルまたはファースト ダイヤルを使用してください。

Web での電話機サービスの設定

電話機サービスには、特殊な電話機の機能、ネットワーク データ、Web ベースの情報（株式相場や映画情報など）が含まれます。電話機で電話機サービスにアクセスする前に、まず電話機サービスに登録する必要があります。

目的	ログイン後に必要な操作
サービスに登録する	<ol style="list-style-type: none">1. デバイスを選択します。2. [電話サービス] をクリックします。3. [新規追加] をクリックします。4. ドロップダウン リストからサービスを選択し、[次へ] をクリックします。5. サービス ラベルを変更します。また、使用可能な場合は、追加のサービス情報を入力します（オプション）。6. [保存] をクリックします。
サービスを検索する	<ol style="list-style-type: none">1. デバイスを選択します。2. [電話サービス] をクリックします。3. [検索] をクリックします。
サービスを変更または解除する	<ol style="list-style-type: none">1. サービスを検索します。2. 1つまたは複数のエントリを選択します。3. [選択項目の削除] をクリックします。
サービス名を変更する	<ol style="list-style-type: none">1. サービスを検索します。2. サービス名をクリックします。3. 情報を変更し、[保存] をクリックします。

目的	ログイン後に必要な操作
サービスを使用可能なプログラマブル ボタン  に追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [サービス URL] をクリックします。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p> (注) このオプションが表示されない場合は、電話機のサービス URL ボタンの設定をシステム管理者に依頼してください。</p> </div> 3. [ボタン サービス] ドロップダウン リストからサービスを選択します。 4. サービスの名前を変更する場合は、ラベル フィールドを編集します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p> (注) 2 バイト文字セットをサポートしていない電話機は、ASCII ラベル フィールドを使用します。</p> </div> 5. [保存] をクリックします。 6. [リセット] をクリックして、電話機をリセットします (新しいボタン ラベルを電話機に表示するために必要です)。
電話機からサービスにアクセスする	電話機の  を押します。または、プログラマブル ボタン  にサービスを追加している場合は、そのボタンを押します。

Web でのユーザ設定の制御

ユーザ設定には、パスワード、PIN、および言語（ロケール）の設定が含まれます。

目的	ログイン後に必要な操作
パスワードを変更する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。2. [ブラウザのパスワード] 領域で情報を入力します。3. [保存] をクリックします。
PIN を変更する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。2. [電話の PIN] 領域で情報を入力します。3. [保存] をクリックします。
ユーザ オプション Web ページの言語（ロケール）を変更する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。2. [ユーザロケール] 領域の [ロケール] ドロップダウン リストから項目を選択します。3. [保存] をクリックします。
電話機スクリーンの言語（ロケール）を変更する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択して、[デバイス設定] ページに移動します。2. [ユーザロケール] ドロップダウン リストから項目を選択します。3. [保存] をクリックします。

ヒント

PIN とパスワードは、さまざまな機能やサービスにアクセスするために使用します。たとえば、PIN は、電話機で Cisco エクステンション モビリティまたはパーソナル ディレクトリにログインするために使用します。パスワードは、パーソナル コンピュータでユーザ オプション Web ページおよび Cisco WebDialer にログインするために使用します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

Web での回線の設定の制御

回線の設定は、電話機の特定の電話回線（電話番号）に影響します。回線の設定には、コール転送、ボイスメッセージのインジケータ、呼出音のパターン、回線ラベルなどが含まれます。



- (注)
- （プライマリ電話回線の）コール転送は、電話機で直接設定することもできます。P.29の「別の電話番号へのすべてのコールの転送」を参照してください。
 - 電話機で直接アクセスできる電話機の設定については、P.50の「電話機の設定の使用」を参照してください。

目的	ログイン後に必要な操作
回線ごとにコール転送を設定する	<ol style="list-style-type: none">1. デバイスを選択します。2. [回線の設定] をクリックします。3. 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、適切な回線が選択されていることを確認します。または、新しい回線を選択します。4. [着信コールの転送] 領域で、コール転送設定を選択して、さまざまな条件を設定します。5. [保存] をクリックします。
回線ごとにボイスメッセージのインジケータの設定を変更する	<ol style="list-style-type: none">1. デバイスを選択します。2. [回線の設定] をクリックします。3. 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、適切な回線が選択されていることを確認します。または、新しい回線を選択します。4. [メッセージ受信ランプ] 領域で、さまざまな設定から選択します。  (注) 通常、デフォルトのメッセージ受信設定では、電話機でハンドセットのライトストリップの赤いランプが点灯することにより、新しいボイスメッセージがあることを示します。5. [保存] をクリックします。

目的	ログイン後に必要な操作
回線ごとに呼出音のパターンを変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [回線の設定] をクリックします。 3. 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、適切な回線が選択されていることを確認します。または、新しい回線を選択します。 4. [呼出音設定] 領域で、選択した回線の着信コールを電話機で示す方法を選択します。 5. [保存] をクリックします。 <p> (注) 「アイドル」呼出音設定は、電話機がアイドル状態のときに着信コールを受信する場合に適切です。「連続」呼出音設定は、電話機がアクティブなときに着信コールを受信する場合に適切です。</p>
電話機スクリーンに表示される回線テキストラベルを変更または作成する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [回線の設定] をクリックします。 3. 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、適切な回線が選択されていることを確認します。または、新しい回線を選択します。 4. [回線のテキストラベル] 領域に、テキストラベルを入力します。 5. [保存] をクリックします。 <p> (注) 2 バイト文字セットをサポートしていない電話機は、ASCII ラベルフィールドを使用します。</p>

Cisco WebDialer の使用

Cisco WebDialer を使用すると、Web ブラウザで項目をクリックすることで、ディレクトリ内の連絡先へのコールを Cisco Unified IP Phone で発信できます。この機能は、システム管理者に設定してもらう必要があります。

目的	操作または状態の説明
ユーザ オプション ディレクトリで WebDialer を使用する	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインします。P.63 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください。2. [ユーザオプション]>[ディレクトリ]を選択し、同僚を検索します。3. ダイヤルする番号をクリックします。4. WebDialer を初めて使用する場合は、初期設定を行い、[送信]をクリックします（詳細については、この表の最後の項目を参照）。5. コールの開始ページが表示された場合は、[ダイヤル]をクリックします（今後このページを表示しないようにする方法については、この表の最後の項目を参照）。 <p>これで、電話機からコールが発信されます。</p> <ol style="list-style-type: none">6. コールを終了するには、[コールの終了]をクリックするか、電話機から切断します。
別のオンライン社内ディレクトリ(ユーザオプションディレクトリではない)で WebDialer を使用する	<ol style="list-style-type: none">1. WebDialer が有効な社内ディレクトリにログインし、同僚を検索します。2. ダイヤルする番号をクリックします。3. プロンプトが表示されたら、ユーザ ID とパスワードを入力します。4. WebDialer を初めて使用する場合は、初期設定を行い、[送信]をクリックします（詳細については、この表の最後の項目を参照）。5. コールの開始ページが表示された場合は、[ダイヤル]をクリックします（今後このページを表示しないようにする方法については、この表の最後の項目を参照）。 <p>これで、電話機からコールが発信されます。</p> <ol style="list-style-type: none">6. コールを終了するには、[コールの終了]をクリックするか、電話機から切断します。

目的	操作または状態の説明
WebDialer からログアウトする	コールの開始ページ、またはコールの終了ページのログアウト アイコンをクリックします。
WebDialer 初期設定を設定、表示、または変更する	<p>[初期設定] ページにアクセスします。</p> <p>[初期設定] ページは、WebDialer を初めて使用するとき（ダイヤルする番号をクリックした後）に表示されます。</p> <p>後で [初期設定] に戻るには、コールの開始ページ、またはコールの終了ページの初期設定アイコンをクリックします。</p> <p>[初期設定] ページには、次のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [優先する言語]: WebDialer の設定およびプロンプトで使用する言語を指定します。 • [常設の電話を使う]: WebDialer コールを発信するときに使用する Cisco Unified IP Phone および電話番号（回線）を特定します。1 本の回線を持つ電話機を 1 台だけ使用している場合は、適切な電話機と回線が自動的に選択されます。それ以外の場合は、電話機または回線、あるいはその両方を選択します。電話機は、ホスト名を使用して指定します（電話機のホスト名を表示するには、 > [ネットワークの設定] > [ホスト名] を選択します）。 • [エクステンションモビリティを使用する]: 選択した場合、WebDialer では、エクステンション モビリティ プロファイル（使用可能な場合）と関連付けられた Cisco Unified IP Phone が使用されます。 • [コールの確認ダイアログを表示しない]: 選択した場合、WebDialer がコールの開始ページを表示しないように要求されます。デフォルトでは、このページは、WebDialer が有効なオンライン ディレクトリの電話番号をクリックした後に表示されます。

その他の設定オプションについて

システム管理者は必要に応じて、特別なサービスや機能のほかに、特別なボタンやソフトキーのテンプレートを使用するように電話機を設定できます。次の表は、設定オプションの概要について説明しています。コールの需要や作業環境に応じたオプションの設定について、電話機のシステム管理者と相談するときに役立ちます。



(注) この表に記載されている電話ガイドとその他のマニュアルについては、次の Web サイトから入手できます。http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm

目的または状態	操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
自分の電話回線で処理できるコールを増やす必要がある	回線でサポートされるコールの追加をシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合わせください。
電話回線が 1 本では足りない	追加の電話番号の設定をシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合わせください。
短縮ダイヤル ボタンが足りない	まず、現在利用可能な短縮ダイヤル ボタンをすべて使用しているかどうかを確認します。 追加の短縮ダイヤル ボタンが必要な場合は、固定短縮ダイヤル機能の使用、またはファースト ダイヤル サービスへの登録を試行してください。	参照先 <ul style="list-style-type: none">短縮ダイヤル (P.35)Cisco Unified IP Phone 7914 拡張モジュール 電話ガイド (SCCP 電話機のみ)
秘書と仕事をしている、または自分が秘書である (SCCP 電話機のみ)	次の機能の導入を検討してください。 <ul style="list-style-type: none">Cisco Unified CallManager Assistant共有回線	参照先 <ul style="list-style-type: none">共有回線の使用 (P.38)Cisco Unified CallManager Assistant User Guide

目的または状態	操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
1つの内線を複数の電話機で使用する	共有回線が必要です。共有回線を使用することで、たとえば1つの内線番号をデスクの電話機と実験室の電話機で使うことができます。	P.38の「共有回線の使用」を参照してください。
電話機やオフィススペースを同僚と共有している	次の機能の導入を検討してください。 <ul style="list-style-type: none"> • コールパーク：転送機能を使用せずにコールを保存、および取得できます。 • コールピックアップ：別の電話機で鳴っているコールに応答できます。 • 共有回線：同僚のコールを表示、またはそのコールに参加できます。 • Cisco エクステンション モビリティ：共有の Cisco Unified IP Phone に自分の電話番号およびユーザープロフィールを適用できます。 	これらの機能については、システム管理者にお問い合わせください。また、次の説明を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 応用的なコール処理 (P.35) • 共有回線の使用 (P.38) • Cisco エクステンション モビリティの使用 (P.45)
頻繁にコールに応答する、または他の人の代理でコールを処理する	電話機への自動応答機能の設定をシステム管理者に依頼します。	P.49の「自動応答の使用」を参照してください。
ビデオ コールを発信する必要がある (SCCP 電話機のみ)	Cisco Unified Video Advantage の使用を検討してください。これを使用することにより、Cisco IP Phone、パーソナルコンピュータ、および外部ビデオカメラを使用して、ビデオ コールを発信できるようになります。	詳細についてはシステム管理者にお問い合わせください。また、『Cisco Unified VT Advantage クイックスタートガイド』および『Cisco Unified VT Advantage ユーザーガイド』を参照してください。
電話機の短縮ダイヤル ボタン、履歴、またはディレクトリのリストと関連付けられた電話回線の状態を判断する	電話機の Busy Lamp Field (BLF; ビジーランプ フィールド) 機能を設定するように管理者に依頼します。	P.46の「BLFの使用による回線の状態の確認」を参照してください。
共有の Cisco Unified IP Phone に自分の電話番号と設定を一時的に適用する	Cisco エクステンション モビリティ サービスについて、システム管理者にお問い合わせください。	P.45の「Cisco エクステンション モビリティの使用」を参照してください。

電話機のトラブルシューティング

この項では、Cisco Unified IP Phone のトラブルシューティングについて説明します。

一般的なトラブルシューティング

この項では、電話機での一般的な問題のトラブルシューティングに役立つ情報を提供します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

症状	説明
ダイヤルトーンが聞こえない、またはコールを完了できない	次の要因のうち1つ以上に該当している場合があります。 <ul style="list-style-type: none">• エクステンション モビリティ サービスにログインする必要がある。• 電話番号をダイヤルした後で、Client Matter Code(CMC)または Forced Authorization Code (FAC)を入力する必要がある (SCCP 電話機のみ)。• 電話機に時間帯制限が設定され、特定の時間帯に一部の機能を使用できない。
設定ボタンが反応しない	システム管理者が電話機で  を無効にしている可能性があります。
電話機のスクリーンに何も表示されない	一定の非アクティブ時間が経過すると、タッチスクリーンは節電のためスリープモードに入ります。タッチスクリーンを押すか、ハンドセットを取り上げるか、  など任意のボタンを押すと、タッチスクリーンは起動します。P.15の「 タッチスクリーンのクリーニングと保守 」を参照してください。
電話機のスクリーンの照明がどのような場合もつかない	電話機のタッチスクリーンの照明を無効にしている可能性があります。システム管理者に連絡し、この機能が使用可能になっているかどうかを確認します。
使用するソフトキーが表示されない	次の要因のうち1つ以上に該当している場合があります。 <ul style="list-style-type: none">• [次へ]を押して、その他のソフトキーを表示する必要がある。• 回線の状態を変更する必要がある(たとえば、オフフックにするか、接続コールを持つ)。• そのソフトキーに関連付けられた機能をサポートするように電話機が設定されていない。

症状	説明
[参加]に失敗する(SCCP 電話機のみ)	[参加]を使用するには、複数のコールが選択されている必要があります。自動的に選択されるアクティブなコールのほかに少なくとも1つのコールが選択されていることを確認してください。また、[参加]を使用するには、選択したコールが同じ回線にある必要があります。必要に応じて、コールに参加する前にそれらを1つの回線に転送してください。
[割り込み]が失敗し、速いビジー音が再生される	使用している電話機が暗号化用に設定されていない場合は、暗号化されたコールに割り込みできません。このことが原因で割り込みに失敗すると、電話機は速いビジー音を再生します。
[割り込み]を使用して参加したコールから切断される	コールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合、[割り込み]を使用して参加していたコールから切断されません。
Cisco CallBack が失敗する	通話相手がコール転送を有効にしている可能性があります。

電話管理データの表示

トラブルシューティングのため、電話機の管理データにアクセスするようシステム管理者から求められる場合があります。

目的	操作または状態の説明
ネットワーク設定データにアクセスする	 > [ネットワークの設定] を選択し、表示するネットワーク設定の項目を選択します。
ステータス データにアクセスする	 > [ステータス] を選択し、表示するステータスの項目を選択します。
電話機のモデル情報にアクセスする	 > [モデル情報] を選択します。
電話機のコールおよび音声品質情報にアクセスする (SCCP 電話機のみ)	 > [ステータス] > [コールの統計] を選択します。

Quality Reporting Tool の使用

パフォーマンスに関する問題をトラブルシューティングするため、システム管理者によって一時的に電話機に Quality Reporting Tool (QRT) が設定される場合があります。[品質] を押すと、情報をシステム管理者に送信できます。設定に応じ、QRT を使用して、次の処理を実行します。

- 現在のコールのオーディオに関する問題をすぐに報告する。
- カテゴリのリストから一般的な問題を選択して、原因コードを選択する。

シスコ製品（ハードウェア）に関する 1年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。シスコのソフトウェアに適用される保証およびライセンス契約書を含む正式な保証書は、Cisco.com から入手できます。次の手順を実行して、Cisco.com から *Cisco Information Packet* および保証書とライセンス契約書にアクセスし、これらをダウンロードしてください。

1. ブラウザを起動し、次の URL に進みます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpk/cetrans.htm

Warranties and License Agreements ページが表示されます。

2. *Cisco Information Packet* を表示するには、次の手順を実行します。

- a. **Information Packet Number** フィールドをクリックし、製品番号 78-5235-03A0 が選択されていることを確認します。
- b. 文書を表示する言語を選択します。
- c. **Go** をクリックします。
- d. Information Packet の Cisco Limited Warranty and Software License ページが表示されます。
- e. このページから文書をオンラインで見るとも、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。



(注) PDF ファイルを表示し、印刷するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。これは、Adobe の Web サイト <http://www.adobe.com> からダウンロードできます。

3. お手持ちの製品について、翻訳またはローカライズされた保証情報を表示するには、次の手順を実行します。

- a. Warranty Document Number フィールドに、次の製品番号を入力します。

78-10747-01C0

- b. 文書を表示する言語を選択します。

- c. **Go** をクリックします。

Cisco warranty ページが表示されます。

- d. このページから文書をオンラインで見るとも、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。

また、Cisco Service and Support の Web サイトにアクセスして、サポートを受けることもできます。

http://www.cisco.com/public/Support_root.shtml

ハードウェア保証期間

1 年間

ハードウェアに関する交換、修理、払い戻しの手順

シスコ、またはその代理店では、Return Materials Authorization (RMA) 要求を受領してから、10 営業日以内に交換部品を出荷するように商業上合理的な努力を致します。お届け先により、実際の配達所要日数は異なります。

シスコは購入代金を払い戻すことにより一切の保証責任とさせて頂く権利を留保します。

Return Materials Authorization (RMA) 番号の入手

製品を購入されたシスコの代理店にお問い合わせください。製品を直接シスコから購入された場合は、シスコの営業担当者にお問い合わせください。

次の項目を記入して、参照用に保管してください。

製品の購入先	
購入先担当者の電話番号	
製品モデル番号	
製品シリアル番号	
メンテナンス契約番号	



Index

A

ASCII ラベル フィールドのサポート 66

B

BLF 46

C

Cisco Unified CallManager Address Book Synchronizer 66

Cisco Unified IP Phone

接続 6

登録 7

トラブルシューティング 76

~の Web ベースのサービス 62

~のオンライン ヘルプ 17

~の機能設定 19, 74

~の図 10

~の高さの調節 7

~のマニュアル 2

ハンドセット受け台の固定 7

Cisco Unified IP Phone 拡張モジュール 7914 52

Cisco Unified Video Advantage 75

Cisco WebDialer 72

Cisco エクステンション モビリティ 45

Client Matter Code、「CMC」を参照

CMC 22, 76

C 割込

使用 39

「割り込み」も参照

E

EM 45

F

FAC 22, 76

Forced Authorization Code、「FAC」を参照

M

Malicious Call Identification 43

MCID 43

Meet-Me 会議 31, 34

MLPP、使用 44

P

PAB

Web ページでの使用 64

電話機で使用 58

PIN、変更 69

Q

- QRT 78
- Quality Reporting Tool 78

T

- TAPS 7
- Tool for Auto-Registered Phones Support 7

U

- URL ダイアル機能、履歴から 55

W

- Web ベースのサービス
 - 設定 62
 - 「ユーザ オプション Web ページ」も参照
- WebDialer 72

あ

- アイコン
 - 回線の 18
 - コールの状態の 18
- 暗号化されたコール 42
- 安全上の、警告 3
- 安全なコール 42

え

- エクステンション モビリティ 45

お

- オーディオ、~の品質 8
- 折り返し 22
- オンフック ダイアル 21
- オンライン ヘルプ、使用 17
- 音量
 - 電話機の呼出音の 50
 - ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカ
フォンの 48
- 音量ボタン 12

か

会議コール

- Meet-Me 31, 34
- 標準 31, 32

回線

- および BLF の使用 46
- ~間での切り替え 25
- 共有 38
- ~でサポートされるコール数 18, 74
- ~とコール転送 29, 70
- ~とコールの状態 18
- ~のアイコン 18
- ~の説明 18
- ~のテキストラベル 70
- ~のボイス メッセージ インジケータの設定
70
- ~のボタン 11
- ~の呼出音のトーン 50
- ~の呼出音のパターン 70
- 表示 13
- 回線ボタン 11

- き
 - キーパッド 12
 - 機能タブ 13
 - 機能のアベイラビリティ 19, 74
 - 機能ボタン
 - サービス 12
 - 設定 12
 - ディレクトリ 11
 - ~の表示 16
 - ヘルプ 12
 - メッセージ 11
 - 機能メニュー 16
 - 共有回線
 - およびリモートで使用中のアイコン 38
 - ~の説明 38
 - プライバシーでの 40
 - 割り込みでの 39
- く
 - グループのコール ピックアップ 37
- け
 - 警告、安全上の 3
 - 言語（ロケール）設定 69
- こ
 - コール
 - 安全な 42
 - 応答 23
 - 回線ごとの最大数 18
 - 回線と比較 18
 - サイレントの使用 30
 - 終了 24
 - ~での参加の使用 32
 - 転送 27, 29, 70
 - ~に関する問題を報告 78
 - ~のアイコン 18
 - ~の会議機能 31
 - ~の複数の参加者 31
 - ~の割り込みの防止 40
 - パーク 41
 - 発信 20, 21
 - 表示 13, 26
 - 複数、~間での切り替え 25
 - 複数処理 25
 - ブロック 30
 - 保存と取得 41
 - 保留と復帰 24
 - ミュート 25
 - 優先順位付け 44
 - 呼び出し中にリダイレクト 37
 - 割り込み 38
 - コール アクティビティ領域 13
 - コール パーク 41
 - コール ピックアップ 37
 - コール処理
 - 応用的な 35
 - 基本的な 20
 - コール待機 23
 - コール転送
 - Web ページでの設定 70
 - 電話機で設定 29
 - コールの概要モード 26
 - コールの切り替え 25

コールの終了のオプション	24
コールの転送のオプション	29
コールの発信のオプション	20, 21
コールの優先順位付け	44
コールへの応答	23
個人アドレス帳、「PAB」を参照	
固定短縮ダイヤル機能	35, 66

さ

サービスへの登録	67
サービスボタン	12
サイレント	30
参加、使用	32

し

自動応答	49
自動ダイヤル	21
社内ディレクトリ	
Web ページでの使用	72
電話機で使用	53, 56
詳細ソフトキー、～でのマルチパーティ コールの表示	55

す

ステータス データ、検索	76
ステータス行、表示	13
スピーカフォン	
使用	47
～でコールに応答	23
～でコールを発信	20
～のボタン	12

～を使用して切断	24
スリープ モード、タッチスクリーンの起動	15

せ

セキュリティ、コールの	42
切断のオプション	24
設置、Cisco Unified IP Phone	6
設定、カスタマイズ	50
設定ボタン	12

そ

ソフトキーボタン	
～の説明	12
～のラベル	13

た

ダイヤルのオプション	20, 21
タッチスクリーン	
クリーニング	15
言語の変更	51
コントラストの調節	51
照明の設定	52
スリープ モード	15
～の機能	13
無効化と有効化	15
タブ、タッチスクリーン上の	13
短縮ダイヤル	
使用	21
設定	35, 66
～と BLF の使用	35
～の説明	35

- ~のボタン 11
 - ラベル 13, 66
- ち
- 着信履歴のレコード 53
- て
- ディスプレイボタン 11, 15
 - ディレクトリ
 - Web ページでの使用 72
 - 社内 56
 - 電話機で使用 56
 - パーソナル 56, 58
 - ディレクトリボタン 11
 - デバイス設定ページ 63
 - 転送のオプション 27
 - 電話回線
 - ~の説明 18
 - ~のボタン 11
 - 表示 13
 - 電話機サービス
 - 設定
 - 「ユーザ オプション Web ページ」も参照
 - 電話タブ 13
- と
- 登録、電話機サービスへの 67
 - トラブルシューティング
 - 「QRT」も参照
 - 一般 76
- な
- ナビゲーションボタン 12
- に
- 認証されたコール 42
- ね
- ネットワーク設定データ、検索 76
- は
- パーソナル ディレクトリ
 - Web ページでの使用 64
 - 電話機で使用 58
 - パスワード、変更 69
 - 発信者 ID 13
 - 発信履歴のレコード 53
 - ハンドセット
 - 受け台に固定 7
 - 使用 47
 - ライト ストリップ 12
- ひ
- ビジー ランプ フィールド 46
- ふ
- ファースト ダイアル
 - Web ページでの設定 65
 - 電話機で使用 58

複数のコール、処理	25
不在履歴のレコード	53
不審なコール、トレース	43
復帰、使用	24
フットスタンド	
調節	7
~のボタン	11
プライバシー	
および共有回線	38
使用	40
プレダイヤル	21
プログラマブルボタン	
~の説明	11
~のラベル	13

へ

ヘッドセット	
使用	47
~でコールに応答	23
~でコールを発信	20
~のボタン	12
~を使用して切断	24
ヘッドセットの性能、一般的な	8
ヘルプ、使用	17
ヘルプボタン	12, 26

ほ

ボイス メッセージ サービス	61
ボイス メッセージのインジケータ	
~の設定の変更	70
~の説明	61
ボタン、識別	10

保留	
~およびコールの切り替え	25
および転送	27
使用	24

ま

マニュアル、アクセス	2
マルチパーティ コール	
~の詳細の表示	55

み

ミュート、使用	25
ミュートボタン	12

め

メッセージ	
~のインジケータ	51, 61
~を聞く	61
メッセージボタン	11
メニュー、使用	16

ゆ

ユーザ オプション Web ページ	
アクセス	62
~での機能およびサービスの設定	64
~での電話機サービスへの登録	67

よ

呼出音	
-----	--

カスタマイズ	50
~のインジケータ	12
~の音量	50
呼出音、パターン、変更	70
呼出音のトーン、変更	50

り

リダイヤル	20
リモートで使用中のアイコン、共有回線の履歴	38

削除	53
~で表示してダイヤル	53
~にある URL エントリからのダイヤル	55

わ

割り込み	
および共有回線	38
およびプライバシー	40
使用	39

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

Cisco Systems has more than 200 offices in the following countries. Addresses, phone numbers, and fax numbers are listed on the Cisco Website at www.cisco.com/go/offices

Argentina • Australia • Austria • Belgium • Brazil • Bulgaria • Canada • Chile • China PRC • Colombia • Costa Rica • Croatia • Cyprus • Czech Republic • Denmark • Dubai, UAE • Finland • France • Germany • Greece • Hong Kong SAR • Hungary • India • Indonesia • Ireland • Israel • Italy • Japan • Korea • Luxembourg • Malaysia • Mexico • The Netherlands • New Zealand • Norway • Peru • Philippines • Poland • Portugal • Puerto Rico • Romania • Russia • Saudi Arabia • Scotland • Singapore • Slovakia • Slovenia • South Africa • Spain • Sweden • Switzerland • Taiwan • Thailand • Turkey • Ukraine • United Kingdom • United States • Venezuela • Vietnam • Zimbabwe

CCSP, CCVP, the Cisco Square Bridge logo, Follow Me Browsing, and StackWise are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn, and iQuick Study are service marks of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, FormShare, GigaDrive, GigaStack, HomeLink, Internet Quotient, IOS, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, the Networkers logo, Networking Academy, Network Registrar, Packet, PIX, Post-Routing, Pre-Routing, ProConnect, RateMUX, ScriptShare, SlideCast, SMARTnet, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company.(0601R)

Copyright © 2006, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。



Java ロゴは、米国または一部の国における Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒 107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501